NTT docomo

N-04C

取扱説明書　'11.3

ドコモ　W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式

このたびは、「N-04C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、本書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。本書に不明な点がございましたら、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
N-04Cはお客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身で FOMA端末に登録された情報内容（連絡先、カレンダーなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。

FOMA端末で操作方法を確認する

アプリケーション画面で「取扱説明書（eトリセツ）」を選択すると、本FOMA端末の取扱説明書アプリケーションで操作方法などを閲覧できます。また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

- 取扱説明書について最新の情報が掲載されています。

取扱説明書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書では、次のような検索方法で、お客様の用途に応じて、機能やサービスの説明ページを探すことができます。

索引から　P.177

機能の名称や、調べたい項目のキーワード、サービス名で探します。

目次から　P.4

機能ごとに分類された目次から探します。

アプリケーション一覧から　P.42

アプリケーション画面に表示されるアプリケーションを一覧表でまとめています。

- この『N-04C取扱説明書』の本文中においては「N-04C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- FOMA カードをご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIM カード」は「FOMAカード」と読み替えてください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

■キー表記と操作手順

- 本書ではキーの表記を簡略したデザインで表記しております。

実際のキー	本書での表記
	［…］（P.23「各部の名称と機能」を参照してください）

- 操作手順の表記と意味は次のとおりです。

表記	意味
ホーム画面で［…］→「設定」→「通話設定」	ホーム画面で［…］を押す→「設定」をタップする→「通話設定」をタップする

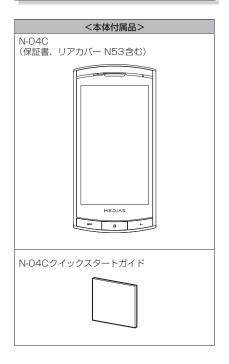
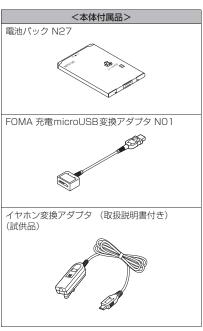
- 本書では、タッチパネルでもキーでも操作できる場合はタッチパネル操作を優先して記載しています。
- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

ディスプレイの表示について

- 本書は、主にお買い上げ時の設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によってFOMA端末の表示が本書での記載と異なる場合があります。

本体付属品および主なオプション品

＜本体付属品＞
N-04C （保証書、リアカバー N53含む）
N-04Cクイックスタートガイド

＜本体付属品＞
電池パック N27
FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01
イヤホン変換アダプタ （取扱説明書付き） （試供品）

<本体付属品>
PC接続用microUSBケーブル（取扱説明書付き）（試供品）
microSDHCカード（8GB）（取扱説明書付き）※（試供品） ※ お買い上げ時には、あらかじめFOMA端末に取り付けられています。

<主なオプション品>
FOMA ACアダプタ 01／02 （保証書、取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.145

目次

N-04Cのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA 端末は i モードのサイト（番組）への接続や i アプリなどには対応しておりません。
- 本FOMA端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本FOMA端末では、マナーモードに設定中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局番号）については「マイプロフィールを表示する」(P.57) をご参照ください。
- ご利用の FOMA 端末のソフトウェアバージョンについては「端末情報」（P.81）をご参照ください。
- 本 FOMA 端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。
  詳しくは「ソフトウェア更新」（P.154）をご参照ください。
- FOMA端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。
  バージョンアップ後は、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- FOMA カード（青色）をお使いの場合、海外で本FOMA 端末を利用することはできません。FOMA カード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 紛失に備え、画面ロックのパスワードを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。詳しくは「現在地情報とセキュリティ」（P.73）をご参照ください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Android マーケットなどの Google サービスやTwitter、Facebook、mixiなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット（VPN設定はPPTPのみに限定）以外のプロバイダはサポートしておりません。
- Wi-Fiテザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- Wi-Fi テザリングの初期設定では、セキュリティは設定されておりません。必要に応じて、セキュリティを設定してください。
- ご利用の料金プランにより、Wi-Fi テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- パケット定額サービスをご利用の場合、Wi-Fi テザリングをご利用中のパケット通信は、Wi-Fi対応機器が接続されていない状態でも、すべてのパケット通信（ブラウザやメールなどを含む）が「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。Wi-Fi対応機器での通信が終了次第、必ずWi-Fiテザリングを無効にしてください。
- ご利用時の料金など詳細については、
  http://www.nttdocomo.co.jp/ をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠**危険**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠**警告**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠**注意**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電変換アダプタ含む）、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電変換アダプタ含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイ ロック設定を行っている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA 端末をアダプタ（充電変換アダプタ含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電変換アダプタ含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

2.FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモUIMカード挿入口やmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

ディスプレイの表面に、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保を目的（強化ガラスの飛散防止）とする保護フィルムがあります。
この保護フィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。

保護フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P.16「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4.アダプタ（充電変換アダプタ含む）の取り扱いについて

⚠警告

アダプタ（充電変換アダプタ含む）のコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタ（充電変換アダプタ含む）には触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電変換アダプタ含む）のコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電変換アダプタ含む）のコード、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：
AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタ（充電変換アダプタ含む）のコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	ディスプレイ面	ナイロン樹脂／すず蒸着、UVコーティング処理
	背面側	ナイロン樹脂／UVコーティング処理
	側面加飾フレーム	アルミ合金／アルマイト着色
	底面加飾フレーム	ナイロン樹脂／すず蒸着、UVコーティング処理
ディスプレイ面上部加飾パネル		PC樹脂／ダイクロ蒸着、UVコーティング処理
ディスプレイパネル		強化ガラス、飛散防止フィルム／UVコーティング処理
外側カメラパネル	カメラパネル	PC/PMMA積層板／ハードコート
	カメラ周囲加飾リング	アルミ合金／アルマイト着色
ライトおよび赤外線ポートパネル		PET樹脂／ハードコート
キー	電源キー	PC樹脂／UVコーティング処理
	メニュー／ホーム／バックキー	PC樹脂／すず蒸着、UVコーティング処理
	ボリュームキー	PC樹脂／アルミ蒸着、UVコーティング処理
お知らせLED		PC樹脂
リアカバー		PC樹脂／UVコーティング処理
外部接続端子キャップ		ポリエステル系熱可塑性エラストマー／UVコーティング処理
外装ケース固定用ネジ		鉄鋼材／三価クロメート処理
ワンセグアンテナ	キャップ	ABS樹脂
	上段・中段上・中段下	ステンレス合金
	下段	ニッケルチタン合金
	根元ヒンジ部	ステンレス合金
	ヒンジピン	ステンレス合金
	ワンセグアンテナ固定部	ダイカスト亜鉛合金
	ワンセグアンテナ固定部ネジ	鉄鋼材／三価クロメート処理
電池パック収納部	収納面	ステンレス合金
	内部フレーム	ナイロン樹脂

使用箇所		材質／表面処理
電池端子	電池端子コネクタ本体	LCP樹脂
	端子部	リンセイ銅／金メッキ処理
電池パック（端子）	電池パック本体	樹脂部：PC樹脂 ラベル：PET樹脂
	端子部	ガラスエポキシ樹脂／金メッキ処理

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電変換アダプタ含む）、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **電池パック、アダプタ（充電変換アダプタ含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**

故障、破損の原因となります。

- **外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子（イヤホンマイク端子）キャップを閉じた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **受話口／スピーカー部分に鋭利な硬いものを入れないでください。**
  FOMA端末の故障、破損の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタ（充電変換アダプタ含む）についてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタ（充電変換アダプタ含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**

故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモ UIM カードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、オブジェクトプッシュ、シリアルポート、フォンブックアクセスを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。（対応しているBluetooth機器のみ）
- 周波数帯について
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4	：2400MHz 帯を使用する無線設備を表します。
FH	：変調方式が FH-SS 方式であることを示します。
1	：想定される与干渉距離が 10m 以下であることを示します。
▬	：2400MHz ～ 2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

・ Bluetooth機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LANについてのお願い

- 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

- 周波数帯について
WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS	：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF	：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ▬▬▬	：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

・2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

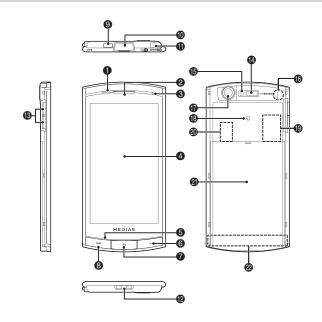
FeliCa リーダー／ライターについて

- FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は 13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊢」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

❶ **受話口（レシーバー）／スピーカー**

❷ **近接／照度センサー**
- タッチパネルの誤作動を防ぐため、通話中に顔が近づいたのを検知すると、タップが有効なアイコンを消去します。
- 周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動で調整することができます。→P.72

❸ **お知らせLED**

❹ **ディスプレイ（タッチパネル）**
- ディスプレイに表示された画面をなぞってスクロールしたり、選択したりできます。→P.31

❺ **送話口／マイク**

❻ **[←]バックキー**
- 前の画面に戻ります。

❼ **[□]ホームキー**
- 短く押すとホーム画面を表示します。
- 長く押すと、実行中のアプリケーションを一覧表示します。→P.47

❽ **[…]メニューキー**
- 操作中の画面のメニューを表示します。

❾ **電源キー**
- 電源のON／OFFやスリープモードにするときに使用します。

❿ **外部接続端子**
- 充電時やイヤホン接続時、パソコン接続時などに使用する統合端子です。

⓫ **ワンセグアンテナ**
- ワンセグ視聴時、電波の感度を上げたいときにアンテナを伸ばします。

⓬ **ストラップ取付穴**

⓭ **□（上）／□（下）ボリュームキー**
- スピーカーの音量を上下するときに使用します。

⓮ **赤外線ポート**
- 赤外線通信に使用します。

⓯ **ライト**
- カメラ撮影のときに、点灯させることができます。

⓰ **GPSアンテナ※**

⓱ **カメラ**
- 動画や静止画撮影のときに使用します。→P.104

⓲ **マーク**
- おサイフケータイ利用時に、このマークを読み取り機にかざします。

⓳ **ドコモUIMカードスロット**
- ドコモUIMカードを挿入します。→P.25

⓴ **microSDカードスロット**
- microSDカードを挿入します。→P.26

㉑ **リアカバー**

㉒ **FOMAアンテナ※**

※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

おしらせ

◆各センサー部分にシールなどを貼らないでください。

ドコモUIMカードについて

ドコモUIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。
ドコモUIMカードが本FOMA端末に取り付けられていないと、一部の機能は利用することができません。
ドコモUIMカードを挿入または取り出す前には、必ずFOMA端末の電源を切り、ACアダプタケーブルも取り外してください。

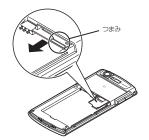
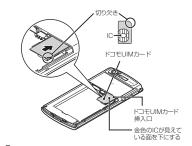
● ドコモUIMカードの暗証番号について

ドコモUIMカードには、PIN1コードとPIN2コードという2つの暗証番号があります。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。変更の方法について詳しくは「暗証番号とドコモ UIM カードの保護について」（P.73）をご参照ください。

ドコモUIMカードを取り付ける

1 リアカバーを取り外す

- リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、取り外します。

2 電池パックを取り出し（P.27）、トレーのつまみを引いてトレーを引き出す

3 ドコモUIMカードのIC面を下にして、トレーに乗せる

4 トレーを奥まで差し込む

ドコモUIMカードを取り外す

1 リアカバーを外し、電池パックを取り出す

2 トレーのつまみを引いてトレーを引き出し、ドコモUIMカードを取り外す

おしらせ

◆ドコモUIMカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとすると、ドコモUIMカードが破損する恐れがあります。

microSDカードについて

microSDカードは、互換性のある他の機器でも使用できます。

- 本FOMA端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年3月現在）。

microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカへお問い合わせください。

http://www.n-keitai.com/

なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

- FOMA端末の電源を切り、リアカバーを外してから取り付け、取り外しを行ってください。

microSDカードを取り付ける

1 microSDカードスロットにmicroSDカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

- microSDカードの金属端子面を下にしてゆっくりと差し込んでください。完全に奥まで差し込むとロックされます。

microSDカードを取り外す

1 microSDカードをいったん奥まで押し込み、ロックを外してから、microSDカードを取り出す

- microSDカードを押し込んで手を離すと、microSDカードが少し出てきます。
microSDカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜きます。

電池パックについて

電池パックの取り付け／取り外しは、FOMA端末の電源を切ってから行ってください。

電池パックを取り付ける

1 リアカバーを取り外す（P.25）

2 電池パックを取り付ける

- 電池パックの「A」と書かれた面を上にして、電池パックとFOMA端末の金属端子が合うように①の方向に取り付けて、②の方向へはめ込みます。

3 リアカバーを取り付ける

• リアカバーを約2mm開けた状態でFOMA端末の溝にあわせ、③の方向へ押し付けながら④の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込みます。

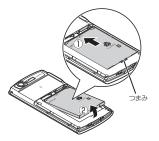
おしらせ

◆ツメがミゾに引っ掛かっていない状態で無理に押し込まないでください。ツメが破損する原因となります。

電池パックを取り外す

1 リアカバーを取り外す（P.25）

2 電池パックを取り外す

• 電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げ、取り外します。

充電のしかた

充電について

- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、電池残量が90%以上になると緑色で点灯します。充電が完了すると消灯します。
- 詳しくは、付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ N01、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02／FOMA海外兼用ACアダプタ01は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。
  AC100Vから240V対応のアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とACアダプタまたはDCアダプタで充電するには、電池パックをFOMA端末に取り付けた状態でないと充電できません。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 電池パックが空の状態で充電を開始すると、しばらくの間FOMA端末の電源が入らない場合があります。
- ご使用の状況によっては、電池残量が100%になる前に充電が停止する場合があります。この場合、使用しているすべての機能を終了してから再度充

電を行ってください。再充電の際は、本FOMA端末を一度FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01またはPC接続用microUSBケーブル（試供品）から外し、再度取り付け直してください。

充電時間（目安）

FOMA端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間です。

FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とACアダプタ（別売）を使用した場合	約170分
FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とDCアダプタ（別売）を使用した場合	約170分

利用可能時間（目安）

以下は、十分に充電したときの使用時間（目安）です。使用時間は、使用環境や電池パックの状態により異なります。詳しくは、「主な仕様」（P.166）をご参照ください。

連続待受時間	
FOMA／3G	静止時（自動）：約360時間
	移動時（3G固定）：約280時間
	移動時（自動）：約200時間
GSM	約220時間（静止時）

連続通話時間	
FOMA／3G	約250分
GSM	約250分

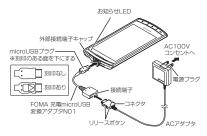
ワンセグ視聴時間
約300分

電池パックの寿命について

N-04C専用の電池パック N27をご利用ください。

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が次第に短くなります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 環境保全のため、不要になった電池パックは NTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

ACアダプタで充電する

FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とFOMA ACアダプタ 01／02（別売）を使って充電する方法を説明します。

1 ACアダプタのコネクタをFOMA充電microUSB変換アダプタN01の接続端子に水平に差し込む

- コネクタの刻印がある面を下にした状態で、文字面を下にした接続端子に水平に差し込んでください。

2 FOMA端末の外部接続端子キャップを開く

3 FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01のmicroUSBプラグをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグは、刻印がある面を下にして水平に差し込んでください。

4 ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込む

- 充電中は、ステータスバーの電池アイコンがのように表示されるか、→→→→のようにアニメーション表示されます。
- 電池パックがフル充電状態になると、ステータスバーの電池アイコンがになります。

5 充電が終わったら、microUSBプラグをFOMA端末から水平に取り外し、外部接続端子キャップを閉じる

6 FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01の接続端子からACアダプタのコネクタを水平に取り外す

- ACアダプタのコネクタは、コネクタの両側にあるリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。

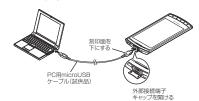
7 ACアダプタを電源コンセントから取り外す

パソコンで充電する

1 FOMA端末の外部接続端子キャップを開く

2 PC接続用microUSBケーブル（試供品）のmicroUSBプラグをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

- microUSB プラグは、刻印がある面を下にして水平に差し込んでください。

3 PC接続用microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに水平に差し込む

4 充電が終わったら、microUSBプラグをFOMA端末から水平に取り

外し、外部接続端子キャップを閉じる

5 **USBプラグをパソコンのUSBポートから水平に取り外す**

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **電源キーを2秒以上押し続ける**

- ロック画面が表示されます。
- 「PIN1コード入力設定」が有効な場合は、電源を入れるとPINコード入力画面が表示されます。PINコードを入力して、「OK」をタップしてください。PINの入力ミスを訂正するには、をタップします。

■ はじめて電源を入れた場合

画面の指示に従って初期設定を行います。→P.34

2 **を右端にドラッグして画面ロックを解除する**

- 画面のロック解除セキュリティで画面ロック解除パターンを設定している場合は、パターンを入力することで画面ロックを解除します。
  PINまたはパスワードを設定している場合は、画面ロック解除後にロック解除セキュリティ入力画面が表示されます。
  画面のロック解除セキュリティについては「現在地情報とセキュリティ」（P.73）をご参照ください。

おしらせ

◆ロック画面は、電源を入れたとき、またはスリープモードを解除したときに表示されます。

◆画面ロックを無効にすることはできません。

● スリープモードについて

電源キーを押したときやFOMA端末を一定時間使用しなかったときは、誤動作防止と省電力のため、ディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。
スリープモード中に電源キーまたは[□]を押すと、スリープモードを解除し、ロック画面を表示します。
なお、スリープモード中でも着信時は自動的にディスプレイを表示します。
ロック画面の解除については、「電源を入れる」の操作2をご参照ください。

おしらせ

◆スリープモードになるまでの時間（バックライト消灯）は設定できます。詳しくは「表示」（P.72）をご参照ください。

電源を切る

1 **電源キーを1秒以上押し続ける**

- 「携帯電話オプション」メニューが表示されます。

2 「電源を切る」

- 「電源を切る」メッセージが表示されます。

3 「OK」

- 電源が切れます。

基本操作（タッチパネルの使いかた）

本FOMA 端末は、ディスプレイにタッチパネルを採用しており、タッチパネルに触れることでさまざまな操作が行えます。

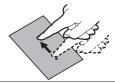
タッチパネル利用上の注意

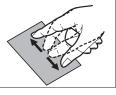
タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となります。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作

タッチパネルの操作

タッチパネルでは以下の操作ができます。

■タップする 画面の項目に軽く触れて実行／選択します。チェックボックスにチェックマークを付けたり外したりもできます。 **■ダブルタップする** 画面に2度続けて軽く触れて、画面を拡大縮小します。	
■ロングタッチ 画面の項目などに1秒以上触れてメニューを表示します。	
■ドラッグ 画面の項目などを指でなぞって上下にスクロールさせます。 一部のウェブページでは左右にもスクロールできることがあります。	
■フリック 画面をすばやくスライドさせ、指を離して画面を高速でスクロールします。スクロール中に画面をタップすると、スクロールが停止します。	

■2本の指で広げる／狭める

2本の指で広げたり狭めたりすると、表示しているホームページや画像が指の動きに合わせて拡大・縮小します。

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本FOMA端末は、本体の縦／横の向きや傾きを感知して自動的にディスプレイの表示方向の切り替えなどを行うモーションセンサーに対応しています。

おしらせ

◆表示方向が自動的に切り替わらないアプリケーションもあります。

◆ディスプレイが地面に対し垂直に近い状態で操作してください。地面に対し水平に近い状態になっていると、FOMA端末を縦横に傾けても画面表示は切り替わりません。

◆ホーム画面で [▪▪▪] →「設定」→「表示」をタップし、「画面の自動回転」のチェックマークを外すと、本FOMA端末を横向き／縦向きにしても画面の表示方向が切り替わらないようにすることができます。

初期設定

はじめて電源を入れたときの設定

本FOMA端末の電源をはじめて入れたときは、FOMA端末で使用する言語やアカウントなどの設定を行います。一度設定を行うと、次回以降、電源を入れたときに設定画面は表示されません。また、ここでの設定は、後から変更できます。

1 電源キーを2秒以上押し続ける

- 「MEDIAS N-04C by NEC」が表示されます。

2 言語を選択→「次へ」→「次へ」

3 「設定」→画面に従いGoogleアカウントを設定する

- 「次へ」をタップすると設定を省略できます。

4 Googleの位置情報サービスを利用するかどうかを設定する→「次へ」

5 GPS機能を利用するかどうかを設定する→「次へ」

6 「設定する」→画面に従いおサイフケータイ機能を設定する

- 「次へ」をタップすると設定を省略できます。

7 ソフトウェア更新に関する説明を確認する→「次へ」

8 「完了」

- 「今すぐサイトを見る」をタップするとMEDIASのオフィシャルサイトをご覧になれます。

おしらせ

◆Eメール、SNSアカウントの設定については「オンラインサービスアカウントを設定する」(P.76)をご参照ください。

◆オンラインサービスの設定は、データ接続可能な状態であること(3G/GPRS)が必要です。データ接続を可能とする方法については「無線とネットワーク」(P.65)をご参照ください。

画面表示/アイコンの見かた

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーにはFOMA端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側に本体のステータスアイコンが表示されます。

● 主なステータスアイコン

アイコン	説明
/ /	要充電/電池残量/充電中
※	電波状態
	国際ローミング中
※	圏外

アイコン	説明
／※	3G通信中／使用可能
／※	GPRS通信中／使用可能
	機内モード設定中
※	Wi-Fi接続中
／	Bluetooth機能ON／対応機器接続中
	データ同期中
	おサイフケータイ ロック設定中
	ドコモUIMカード未挿入
	アラーム設定中
	通話中にスピーカーON
	マイクミュート設定中
／	マナーモード（バイブレーションON／OFF）
	ecoモードON
	GPS測位中
あ／A／数／Λ／⑲	入力文字種（ひらがな／英文字／数字／絵文字･顔文字･記号･定型文･文字コード／T9入力）

※ Googleのアカウントを設定している（同期している）場合は青色に、設定していない（同期していない）場合は灰色になります。

● 主な通知アイコン

アイコン	説明
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着spモードメールあり
	新着SMSあり
	SMS送信失敗
	留守番電話あり
talk	新着インスタントメッセージあり
	エリアメールあり
	カレンダーの予定あり
	アラームがスヌーズ中
	音楽再生中
	セキュリティ設定「なし」のWi-Fiネットワークが存在する
	Bluetooth通信でファイル着信あり
	USB接続中
／	通話中／保留中
	不在着信あり
	データアップロード／送信
	データダウンロード／受信
	アプリケーションインストール完了
	インストール済みアプリケーションのアップデートあり
	通知アイコンを表示しきれていないとき
	赤外線通信中
	ワンセグ視聴中
REC	ワンセグ録画中

アイコン	説明
	MEDIAS NAVIの更新あり
	ソフトウェア更新あり
	メジャーアップデート更新あり、更新中
	タップサーチ中
	エラー／警告メッセージあり
	本体に空き容量なし
	Wi-Fiテザリング利用中
／	VPN接続中／切断

通知パネル

通知アイコンは通知パネルに表示されます。メッセージや予定の通知を通知パネルから直接開くことができます。

● 通知パネルを開く

1 ステータスバーを下にドラッグする

- 通知パネルが表示されます。通知パネル上部には各機能のON／OFFを切り替えるアイコンが表示され、ONの状態ではアイコンの下部が青く、OFFの状態ではアイコンの下部がグレーに表示されます。

① タップサーチを利用します。→P.40
② アイコンをタップして、各機能のON／OFFを切り替えます。
  : マナーモードのON／OFF切替→P.71
  : ecoモードの切替→P.72
  : GPSのON／OFF切替→P.73
  : BluetoothのON／OFF切替→P.65
  : Wi-FiのON／OFF切替→P.65
  : LCDバックライトの明るさ切替→P.72
  : アカウント自動同期のON／OFF切替→P.76
③ 在圏する事業者名称が表示されます。
④ サービスを提供する事業者名称が表示されます。
⑤ タップするとチェックマークが付いている通知情報とステータスバーの通知が消去されます。

⑥ 消去したい通知にチェックマークを付けてから⑤をタップすると消したい通知を個別に消せます。
⑦ 不在着信やダウンロードの完了などの情報が表示されます。

● 通知内容の詳細を表示する

1 通知パネルの通知メッセージをタップする

● 通知パネルの表示を消去する

1 消したい通知をタップしチェックマークを付ける

2「通知を消去」

- チェックマークの付いた通知が消去されます。

おしらせ

◆通知内容によっては通知を消去できない場合があります。

● 通知パネルを閉じる

1 通知パネルの下部を上にドラッグまたはフリックする

ホーム画面

ホーム画面ではアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加／移動したり、壁紙を変えるなどカスタマイズできます。
ホーム画面は、ショートカットやウィジェットを追加するための画面が7画面用意されています。

① ウィジェット（例：クイック検索ボックス）
タップして、ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリケーション）の起動や操作を行います。
② ショートカット※
タップして、アプリケーションやFOMA端末の設定項目などを起動します。
※ ホーム画面にメーカーサイト（MEDIAS NAVI）のショートカットがあります。

左または右の画面の領域を表示する

1 ホーム画面を左または右にドラッグする

- 左または右の画面の領域が表示されます。

● ホーム画面のページを並べ替える

ホーム画面の順番を自由に入れ替えることができます。

1 ▦または画面下部左右のページ位置アイコンをロングタッチする

• ページサムネイル画面が表示されます。

2 並べ替えるページをロングタッチする

3 ページを移動させたい場所にドラッグし、指を離す

壁紙を変更する

1 ホーム画面をロングタッチする

• 「ホーム画面に追加」メニューが表示されます。

2 「壁紙」

3 壁紙のカテゴリーをタップする

• 「ギャラリー」をタップした場合は、壁紙として使用する画像をタップして選択してください。続けて、画面に表示された枠をドラッグすることで壁紙として使用する部分を選択し、「保存」をタップしてください。
• 「ライブ壁紙」をタップした場合は、ライブ壁紙の一覧が表示されます。いずれかのライブ壁紙をタップして選択した後、「壁紙に設定」をタップしてください。壁紙の種類によっては、「設定」をタップすると、ライブ壁紙の設定を行うことができます。
• 「壁紙」をタップした場合は、画面上部に選択している壁紙、画面下部にサムネイルが表示されます。サムネイルはドラッグすることで左右にスクロールさせることができます。サムネイルをタップして壁紙を選択した後、「壁紙に設定」をタップしてください。

ホーム画面にショートカットを追加する

1 ホーム画面をロングタッチする

2 「ショートカット」

3 追加するショートカットの種類をタップする

4 追加するショートカットをタップする

おしらせ

◆ホーム画面で [⋯] →「追加」をタップすることで「ホーム画面に追加」メニューを表示することもできます。
◆アプリケーション画面でアイコンをロングタッチしても、ホーム画面にショートカットアイコンを追加することができます。

ショートカットアイコンを移動する

1 ホーム画面で、移動するショートカットアイコンをロングタッチする

2 そのままドラッグし、移動先で指を離す

ホーム画面にフォルダを作成する

1 ホーム画面をロングタッチする

2 「フォルダ」

3 作成するフォルダの種類をタップする

フォルダにショートカットを追加する

1 ホーム画面で、フォルダに追加するショートカットアイコンをロングタッチする

2 そのままフォルダにドラッグして指を離す

3 フォルダをタップする

- フォルダのウィンドウが開き、ショートカットアイコンがフォルダに追加されたことを確認できます。

フォルダの名前を変更する

1 名前を変更するフォルダをタップする

- フォルダのウィンドウが開きます。

2 タイトルバーをロングタッチする

- 「フォルダ名を変更」メニューが表示されます。

3 設定する名称を入力して「OK」

- フォルダの名前が変更されます。

ホーム画面にウィジェットを追加する

1 ホーム画面をロングタッチする

2 「ウィジェット」

3 追加するウィジェットをタップする

ホーム画面のアイコンを削除する

1 ホーム画面で、ショートカットアイコン、フォルダ、またはウィジェットをロングタッチする

2 画面下部のゴミ箱アイコンへドラッグし、アイコンが赤色に変わったら指を離す

検索する

FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを対象として検索できます。また、検索対象を変更することもできます。
検索の設定については「検索」（P.79）をご参照ください。

● 文字を入力して検索する

1 ホーム画面で検索ウィジェットの検索ボックスをタップする

2 キーワードを入力する

- 文字の入力に従って、検索候補、FOMA端末内の検索結果、または以前に選択した検索結果がリスト表示されます。

3 リストのいずれかをタップする

- 最適なアプリケーションで内容を表示します。

おしらせ

◆目的の検索結果がない場合は、→または「実行」をタップするとウェブページが検索できます。

● 音声で検索する

1 ホーム画面で検索ウィジェットの をタップする

2 「お話しください」と表示されたら、マイクに向かって検索語をはっきりと発音する

- 検索結果一覧が表示されます。検索候補の選択リストが表示された場合は、検索したい文字を選択してください。

おしらせ

◆正しく変換されない場合は、改めて をタップして音声入力するか、文字を入力して検索してください。

● タップサーチを利用する

タップサーチを使うと、画面上に検索したい文字がある場合に、文字を入力する手間なく検索を行うことができます。

● タップサーチの文字認識条件は以下の通りです。
- 認識可能な文字種類
  白背景に黒文字で書かれた漢字・英字・カタカナ
- 推奨文字サイズ
  20～40ドット

1 通知パネルを開いて、 をタップする

- ステータスバーに が表示され、タップサーチモードが起動します。

■ タップサーチモードを終了する
→

2 画面上の検索したい文字を指でタップする

- 検索する文字列が表示されます。

■ 表示された文字列で検索する
→「OK」

■ やり直す場合
→「やり直し」

■ 表示された文字列を編集して検索する
→テキストボックスをタップ→文字列を編集→「OK」

おしらせ

◆アプリケーションによってはタップサーチモードにすると、画面を正しく表示できないことがあります。

アプリケーション画面

アプリケーション画面では、本FOMA端末にインストールされているアプリケーションを一覧表示します。
また、ホーム画面に配置できるウィジェットも一覧表示できます。

アプリケーションを開く

1 ホーム画面で

- 画面を上下にドラッグまたはフリックすると、画面をスクロールできます。

2 アイコンをタップする

- タップしたアイコンのアプリケーションが開きます。

おしらせ

◆アプリケーションのアイコンをロングタッチすると、ホーム画面にアプリケーションのショートカットアイコンを配置できます。

● **ウィジェット一覧画面からホーム画面にウィジェットを配置する**

1 アプリケーション画面で「ウィジェット」をタップする

2 ウィジェットのアイコンをタップする

- プレビュー画面が表示されます。

3「ホーム画面に追加」

- ホーム画面にウィジェットが配置されます。

おしらせ

◆ウィジェットとして配置できるアプリケーションは、アプリケーション画面とウィジェット画面どちらにも表示されます。

● **アプリケーションを並べ替える**

アプリケーション画面でアプリケーションのアイコンの並びを自由に入れ替えることができます。

1 アプリケーション画面で[…]→「並び替え」

- アイコンを並べ替えられる状態になります。

2 アプリケーション画面で並べ替えるアイコンをロングタッチする

3 アイコンを移動させたい場所にドラッグし、指を離す

おしらせ

◆ウィジェット画面でも同じように並べ替えることができます。

● **アプリケーションをアンインストールする**

アプリケーション画面からアイコンを選択し、アプリケーションをアンインストールすることができます。

1 アプリケーション画面で[…]→「削除」

- 削除できるアプリケーションアイコンの右上に⊖が表示されます。

2 ⊖→「OK」

● **アプリケーション・ウィジェットを検索して起動する**

1 アプリケーション画面で[…]→「検索」

2 検索する文字を入力→🔍または「実行」

3 検索結果をタップする

- ウィジェットを選択した場合は、ウィジェットプレビュー画面右下に表示される「ホーム画面に追加」をタップするとホーム画面に配置できます。

アプリケーション一覧

アイコン	アプリケーション	説明	参照ページ
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。	P.91
	おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます。	P.128
	音楽	microSDカードに保存した音楽を再生できます。	P.106
	音声検索	音声を認識し、ブラウザでGoogle検索を行います。	P.40
	カメラ	静止画を撮影できます。	P.104
	カレンダー	カレンダーを表示したり、予定を登録したりできます。	P.132
	ギャラリー	撮影した静止画や動画などを閲覧できます。	P.105
	検索	検索ワードを入力し、FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを対象として検索できます。	P.39
	書籍・コミック E★エブリスタ	プロ作家・有名人のオリジナル作品から一般ユーザの人気投稿作品まで、話題の電子書籍・コミックが閲覧できます。 プロ作家・有名人の作品閲覧は有料です。	−
	設定	FOMA端末の各種設定を行うことができます。	P.65
	ソトメモ	写真とコメントを編集することで自分だけの地図を作ることができます。おでかけ先でのメモツールとして便利です。	−
	ダウンロード	ブラウザでダウンロードしたファイルの一覧を表示します。	−
	旅比較ねっと	大手旅行サイトの宿泊プランを横断検索できる他、GPSを利用して現在地付近の宿泊施設検索が利用できます。	−

アイコン	アプリケーション	説明	参照ページ
	ついっぷる	ついっぷるを利用し、Twitterを簡単に利用できます。	－
	テレビ	ワンセグ放送を視聴できます。	P.124
	電卓	電卓を利用できます。	P.134
	電話	電話をかけることができます。	P.53
	電話帳コピーツール	microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で連絡先データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された連絡先データをdocomoアカウントにコピーできます。	P.58
	電話帳バックアップ	連絡先データを電話帳バックアップセンターに自動で定期的にバックアップすることができ、FOMA端末の紛失時や誤って削除した際などにリストアできるサービスです。 ※電話帳バックアップの詳細については、「ご利用ガイドブック（spモード編）」をご覧ください。	－
	トーク	Googleトークを利用してチャットができます。	P.98
	時計	時刻や日付、天気予報の表示、アラームの設定ができます。	P.131
	ドコモマーケット	アプリも動画も探せるドコモマーケットにアクセスすることができます。	P.118
	取扱説明書	本FOMA端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。	表紙次頁
	トルカ	店舗情報やクーポン券などのトルカを表示、検索、更新ができます。	P.131
	ナビ	目的地への音声ナビゲーションなどができます。	P.123
	ニュースと天気	ニュースと天気の情報を閲覧できます。	P.134
	ビデオカメラ	動画を撮影できます。	P.104

アイコン	アプリケーション	説明	参照ページ
	ブラウザ	ウェブページを閲覧できます。	P.92
	プレイス	現在地の近くのレストランやカフェなどの目的地を簡単に探すことができます。	P.122
	歩数計	歩数計を利用することができます。	－
	マーケット	Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスして、FOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。	P.115
	マップ	現在地や目的地の表示、目的地への経路検索などができます。	P.120
	メール	登録したアカウントのメールの送受信ができます。	P.83
	メッセージ	SMSの送受信ができます。	P.90
	連絡先	電話番号やメールアドレスを登録し、簡単な操作で連絡できます。また、TwitterなどのSNSの更新情報や、やり取りの履歴を表示したりできます。	P.55
	andronavi	NECビッグローブが運営するAndroid端末向け情報配信サイト「andronavi」を利用できます。	－
	ATOK	文字入力についての設定や、辞書の登録などができます。	P.50
	BeeTV	BeeTVは、ケータイ専用の放送局です。有料会員登録を行うと、BeeTV内の全番組を視聴できます。	－
	BOOKストア2Dfacto	本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入、閲覧できる電子書籍ストアです。	－
	Days	メールや通話の履歴、SNS上でのやり取りを自動的に作成された日記内で閲覧することができます。	P.135

アイコン	アプリケーション	説明	参照ページ
	Evernote	EvernoteはWebサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、様々な情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できるサービスです。情報の保存や閲覧はFOMA端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。本アプリケーションのご利用には、Evernoteアカウントの作成が必要です。	－
	Gmail	Googleアカウントのメールの送受信ができます。	P.86
	Gガイド番組表	地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリです。キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグへの視聴・録画予約も可能です。	－
	iD設定アプリ	iDは、お店の読み取り機にかざすだけでお支払いができる電子マネーです。簡単な設定ですぐにiDが使えます。	P.130
	Latitude	地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。	P.123
	MEDIAS NAVI	メーカーサイト「MEDIAS NAVI」に接続します。	－
	MEDIAS WELLNESS	シェイプアップや健康管理をナビゲートします。自分の好みに合わせてトレーニングやレコーディングが選べ、楽しく健康管理が続けられます。	－
	Quickoffice	microSDカードに保存されているドキュメントを表示、編集できます。	P.134
	spモードメール	ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。	P.86
	Topics	ついっぷるトレンドから世間で盛り上がっている話題、SNSのサイトから仲間で盛り上がっている話題を自動的に収集して、閲覧することができます。	P.135
	YouTube	YouTubeの動画を再生／アップロードできます。	－

おしらせ

◆アプリケーションの最新版は、マーケットなどからダウンロードすることができます。

◆ソフトウェア更新やメジャーアップデートを行うと、アプリケーションの内容やアイコンの位置が変わることがあります。
◆アプリケーションによっては、アイコンの下に名前が最後まで表示されない場合があります。

タスク管理

起動中のアプリケーションを一覧で表示し、操作画面に切り替えることができます。また、不要なアプリケーションを終了させることもできます。

※ 複数のアプリが同時に起動していると、電池の消耗が早くなるほか、端末が不安定になりアプリケーションが強制終了したり、動作速度が低下することがあります。

1 □を1秒以上押す

- 起動中のアプリケーション一覧が表示されます。

2 切り替えたいアプリケーションをタップする

■ アプリケーションを終了する場合

→終了したいアプリケーションの✕をタップする

■ すべてのアプリケーションを終了する場合

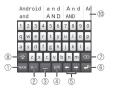
→「全てのアプリを終了する」→「はい」

文字入力

本FOMA端末では、ディスプレイに表示されるキーボードで文字を入力します。テキストボックスをタップすると、キーボードが表示され、文字が入力できます。

●キーボードには以下の 2 種類のキーボードがあります。

■QWERTYキーボード

パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。

■テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。

①		／：QWERTYキーボード／テンキーキーボードを切り替えます。 ♥ (^_^) #!?" 定型文 文字コード →P.50
	後変換	ひらがな／カナ／英字などに文字を変換します。
	カナ英数	テンキーキーボードのとき、カナ／英数などに文字を変換します。 半角／全角の切り替えもできます。

②	あA	■QWERTYキーボード（日本語入力モード） 入力する文字種を「ひらがな」→「英字」の順に切り替えます。 ロングタッチするとATOKメニューが表示されます。 [ATOKメニュー] •「ATOKの設定」:「ATOKを設定する」→P.50 •「単語登録」: 単語を登録します。登録した単語は文字変換時に利用できます。 •「英語入力モード⇔日本語入力モード」: 入力モードを切り替えます。
	MENU	■QWERTYキーボード（英語入力モード） ATOKメニューが表示されます。
	あA1	■テンキーキーボード（日本語入力モード） 入力する文字種を「ひらがな」→「英字」→「数字」の順に切り替えます。 ロングタッチするとATOKメニューが表示されます。
	A1	■ テンキーキーボード（英語入力モード） 入力する文字種を「英字」→「数字」の順に切り替えます。 ロングタッチするとATOKメニューが表示されます。
③	␣	空白を入力します。
	変換	入力文字の変換を行います。
④	記号	キーボードを記号入力に切り替えます。
⑤	←／→	カーソルを移動します。変換時は変換範囲を変更します。
⑥	↵	改行の入力、入力文字を確定します。
	次へ	連絡先など次のテキスト入力欄があるときに、入力を完了し次の項目に移動します。
	実行	ウェブページや検索ワードの入力のときなどに、入力したテキストボックスの機能を実行します。
⑦	⌫	カーソル位置の左の文字を削除します。テンキーキーボードでは「文字削除キー」（→P.51）で右の文字を削除（CLR）にすることもできます。
⑧	⇧	1回タップすると次に入力する文字が大文字になり（⇧）、2回タップすると大文字に固定します（⇧）。一部記号も入力できます。
⑨	↩	1つ前の文字を表示（逆順）します。
	戻す	1つ前の操作を取り消します。
⑩	-	文字入力時に予測候補が表示され、タップして文字を入力することができます。

おしらせ

◆キーボードが不要な場合は、[…]を1秒以上押すと閉じることができます。再び表示するには、画面上のテキストボックスをタップまたは[…]を1秒以上押してください。

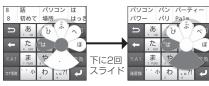
● テンキーキーボードの入力方式を選択する

テンキーキーボードで文字を入力するときの入力方式を選択します。

1 文字入力画面で あA ／ あA1 をロングタッチ→「ATOKの設定」→「ソフトウェアキーボード」→「入力方式」

2 「ケータイ入力」／「ジェスチャー入力」／「フリック入力」／「T9入力」

■ケータイ入力
入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ジェスチャー入力
入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーの周りにジェスチャーガイド（文字）が表示されます。タップした指をそのまま目的の文字までスライドします。
また、タップした指を下に1回または2回スライドすることで、濁音／半濁音／小文字のジェスチャーガイドを表示できます（英字入力時は、大文字／小文字を切り替えます）。
例：「ぱ」を入力する場合

■フリック入力
入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーの上にフリックガイド（文字）が表示されます。タップした指をそのまま目的の方向にフリックします。
また、フリック入力後゛゜小を1回または2回タップして、濁音／半濁音／小文字を入力できます。

■T9入力
入力したい文字が割り当てられているキーを1回ずつタップし、表示された予測候補の中から目的の文字を選択して入力します。
例：「春」を入力する場合
→「は」「ら」とタップ

予測候補に「春」と表示されるのでタップします。

- 目的の文字が予測候補にないときは、読み編集をタップして、読みを入力します。
- 濁音／半濁音を入力する場合は、゛゜をタップします。
- 英語と日本語を切り替えるときは 英語 ／ 日本語 をタップします。
- 漢字かな をタップして、予測候補の表示を「漢字／かな」に切り替えることができます。

「変換」に「はる」の候補が表示されるので、「春」をタップします。「予測」には「はる」からの予測候補が表示されます。

- 変換範囲を変えたい場合は、←範囲 ／ 範囲→ をタップします。

● 絵文字／顔文字／記号パレットで入力する

●絵文字はspモードメールでのみ利用できます。

1 文字入力画面で[icon]をタップ

2「♥」／「(^_^)」／「#!?"」

・キーボードに該当のパレットが表示されます。

■ 定型文／文字コードから入力する

→「定型文」／「文字コード」

■ 連絡先のデータを引用する

→「[icon]」→「電話帳／ATOKダイレクト」→連絡先をタップ→引用したい項目にチェックマークを付ける→「OK」

● Androidキーボードに切り替える

Androidキーボードに切り替えて文字を入力することもできます。

●Androidキーボードは日本語入力に対応していません。

1 テキストボックスをロングタッチする

2「入力方法」→「Androidキーボード」

■ ATOKキーボードに切り替える場合

→「ATOK」

ATOKを設定する

文字入力画面で[あA1]または[あA]をロングタッチして、ATOKメニュー→「ATOKの設定」を選択すると、ATOKでの文字入力に関する設定を変更できます。

項目	説明
ソフトウェアキーボード	
キー操作音	チェックマークを付けると文字を打つとき、キーをタップするたび音が鳴ります。
キー操作バイブ	チェックマークを付けると文字を打つとき、キーをタップするたび振動します。
入力方式	テンキーキーボード使用時の文字入力方式を選択します。 入力方式についてはP.48をご参照ください。
トグル入力	「ケータイ入力以外でもトグル入力する」を有効にすると、ジェスチャー入力、フリック入力でもトグル入力が可能になります。 「自動カーソル移動を行う」を有効にすると、一定時間入力しなければカーソルが右に移動します。有効にした場合はカーソルが移動するまでの時間も設定します。「自動カーソル移動を行う」の設定は、入力方式がケータイ入力となっている場合、もしくは「ケータイ入力以外でもトグル入力する」が有効になっている場合に限り、連動して動作します。 ※「トグル入力」設定は、「入力方式」の各設定ごとに変更されます。

項目	説明
文字削除キー	「BS」を選択すると⌫をタップしたときカーソルの左の文字が削除、「CLR」を選択すると、CLRをタップしたときカーソルの右の文字が削除されます。
ジェスチャーガイド	チェックマークを外すとジェスチャー入力時にガイドを表示しません。 チェックマークを付けるとガイドが表示されます。また、ガイドが表示されるまでの時間を設定できます。 入力方式に「ジェスチャー入力」を指定した場合のみ項目設定できます。
フリックガイド	フリック入力時にフリックガイドを表示するかどうかを設定します。
フリック感度	フリック入力で文字を打つときの文字選択の感度を設定します。
切り替え時は半角英字	テンキーキーボードからQWERTYキーボードに切り替えたときに、半角英字になるように設定します。
縦画面の数字キー表示	縦画面でQWERTYキーボードを表示するときに、数字キーを表示するように設定します。非表示にした場合はフリック操作で数字などを入力します。
横画面の数字キー表示	横画面でQWERTYキーボードを表示するときに、数字キーを表示するように設定します。非表示にした場合はフリック操作で数字などを入力します。

項目	説明
入力・変換	
推測変換	チェックマークを付けると、文字入力時に推測候補を表示します。
未入力時の推測候補表示	推測変換にチェックマークが付いている場合に選択できます。 チェックマークを付けると入力した語句の次に続く単語を推測して、候補を表示します。
自動スペース入力	英語入力モード設定時に単語を確定すると自動的にスペースを挿入します。
スペースは半角で出力	日本語入力時にもスペースを半角で入力するように設定します。
学習データの初期化	すべての学習データを初期化します。 絵文字・顔文字・記号入力パネルの履歴も初期化されます。
デザイン	
文字サイズ	変換候補の文字サイズを選択します。
表示行数（縦画面）	縦画面表示での変換候補の表示される行数を選択します。
表示行数（横画面）	横画面表示での変換候補の表示される行数を選択します。
ツール	
辞書ユーティリティ	ユーザー登録単語データの管理をします。
定型文ユーティリティ	ユーザー定型文データの管理をします。絵文字に対応していないテキストボックスでは、絵文字を使用している定型文は表示されません。

● ATOK設定を初期化する

ATOKの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 ATOKの設定画面で「設定の初期化」→「OK」

おしらせ

◆設定の初期化をしても、学習データや追加したユーザー辞書の単語、定型文は初期化されません。

電話／ネットワークサービス

電話をかける／受ける

電話をかける

本FOMA端末では、一般的な通話のほか国際電話、緊急電話をかけることもできます。また、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用するためポーズを入力することもできます。

● 電話をかける

1 ホーム画面で

2 電話番号を入力→

- 電話番号の入力を誤った場合は、 をタップすることで消去できます。

おしらせ

◆電話番号の入力画面で をタップまたは「1」をロングタッチすると、1417（留守番電話サービスセンター）へ音声発信を行います。

● プッシュ信号（ポーズ）を入力する

1 ホーム画面で

2 電話番号を入力し、 →「プッシュ信号（2秒後）」または「プッシュ信号（手動）」をタップする

3 利用するサービスのメニュー番号などを入力→

● 緊急電話をかける

1 ホーム画面で

2 緊急電話番号である110番（警察）、119番（消防と救急）、118番（海上保安庁）を入力 →

おしらせ

◆本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

◆FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
◆かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
◆PIN1コード入力設定を有効に設定している場合、機内モード中に緊急呼発信をする際は、PIN1コードを入力する操作が必要となります。
◆画面ロックを設定している場合、解除パターン入力画面やPINコード入力画面ではパスワードの入力を行わなくても緊急通報は可能です。それぞれの入力画面で「緊急通報」をタップしてください。「緊急通報」画面が表示され、緊急電話番号にだけ電話をかけることができます。
◆日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番／119番／118番に接続できません。
◆日本国内では、電源ON時のPINコード入力画面から「緊急通報」をタップしても、110番/119番/118番に接続できません。PINコードについて詳しくは「暗証番号とドコモUIMカードの保護について」(P.73)をご参照ください。

● 通話を終了する

1 通話中に

● 国際電話をかける（WORLD CALL）

WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

1 ホーム画面で

2 「0」をロングタッチする

- 「+」が表示されます。

3 国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順に入力し

おしらせ

◆地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
◆WORLD CALLについて詳しくは、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

電話を受ける

着信すると着信音が鳴ります。マナーモードまたは着信音量を消音に設定すると、着信音は鳴りません。バイブレータを設定すると、バイブレータが動作します。

● 電話を受ける

1 電話がかかってきたら を右端にドラッグする

おしらせ

◆連絡先に登録されている相手からの電話の場合、名前、電話番号が表示されます。連絡先に登録されていない相手の場合には、電話番号のみ表示されます。

● 着信を拒否する

1 電話がかかってきたら を左端にドラッグする

おしらせ

◆留守番電話サービス、転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに着信を拒否すると、留守番電話サービスセンター、指定した転送先へ着信を転送します。

通話中の操作

通話中には利用状況に応じて音量を調整したり、スピーカーやマイクのオン／オフ、保留などの操作ができます。

通話音量を調整する

通話中に音量の調整ができます。

1 通話中に□（上・音量大）／□（下・音量小）

通話中オプションを利用する

通話中に相手の音声をスピーカーで聞こえるようにしたり、一時的にマイクを無効にしたりできます。

● スピーカーをオンにする／オフにする

1 通話中に「スピーカー」

- スピーカーから通話相手の音声が聞こえます。
- ハンズフリーで通話することができます。

2 スピーカーがオンの状態で「スピーカー」

- スピーカーから通話相手の音声が聞こえなくなります。

おしらせ

◆スピーカーがオンになっている状態で本 FOMA 端末を耳に当てないでください。
◆FOMA端末に向かって50cm以内の距離でお話しください。音が割れて聞き取りにくい場合は、スピーカーをオフにしてください。

● マイクをオフにする／オンにする

1 通話中に「ミュート」

- 通話相手に音声が聞こえなくなります。

2 マイクがオフになっている状態で「ミュート」

- 再び通話相手に音声が聞こえるようになります。

● 通話を保留する

1 通話中に「保留」

- 通話を保留します。
- 通話を保留するにはキャッチホンの契約が必要です。

2 保留になっている状態で「保留解除」

- 保留が解除され、通話を再開します。

● Bluetoothヘッドセットをご利用の場合

通話中に「Bluetooth」をタップして、Bluetoothヘッドセットを使用したハンズフリー通話のオン／オフを切り替えることができます。

連絡先

連絡先の電話番号、Eメールアドレス、インターネット上のSNS（Twitter、Facebook、mixi）のアカウントなどの情報を登録できるほかに、SNSの更新情

報ややり取りの履歴を表示できる総合コミュニケーションツールです。

※ SNS情報を登録・取得する際に、通信が発生する場合があります。

連絡先を表示する

1 ホーム画面で→「連絡先」タブをタップする

① タップするとグループ名の一覧が表示されます。グループを選択すると選択したグループに所属する連絡先を表示します。
② 文字を入力して連絡先を検索します。→P.56
③ 連絡先を新規登録します。→P.56
④ 自分のプロフィールが表示されます。タップするとプロフィールの詳細を表示します。→P.57
⑤ 連絡先に登録してあるSNSのアイコンが表示されます。
⑥ 連絡先の名前です。
⑦ タップまたはドラッグしたインデックスにジャンプします。
⑧ 統合した連絡先（P.58）にアイコンが表示されます。
⑨ 連絡先に登録してある画像です。
⑩ タブを選択してタップすると、画面を切り替えます。

● 連絡先を編集する

1 編集する連絡先をロングタッチする→「編集」

2 変更する項目をタップする→内容を入力→「保存」

● 連絡先に発信する

1 連絡先をタップする

2 発信する電話番号をタップする

● 連絡先を新規登録する

1 連絡先画面で＋

- 複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。

2 内容を入力→「保存」

● 連絡先を検索する

1 連絡先画面でをタップする

2 キーワードを入力→候補として表示された連絡先の名前をタップする

マイプロフィールを表示する

お客様のドコモUIMカードに登録されている電話番号を表示できます。また、お客様自身でメールアドレスなどの情報を登録できます。

1 ホーム画面で → 「連絡先」タブをタップする

2 「マイプロフィール」データをタップする

■ マイプロフィールを編集する
→マイプロフィール画面で→変更する項目をタップ→内容を入力→「保存」

通話履歴

着信や発信の履歴は自動的に記録されます。また、この履歴を利用して電話をかけることもできます。

● 通話履歴を利用して電話をかける

不在着信や通話履歴を元に電話がかけられます。

1 ホーム画面で

2 「通話履歴」タブをタップする

3 相手の名前または電話番号の右にあるをタップする

- 呼び出しが行われます。

おしらせ

◆「通話履歴」タブでいずれかの名前または電話番号をタップまたはロングタッチすることで、メニューが表示されます。そこで、「～に発信」をタップすることで電話をかけることもできます。

● 通話履歴の電話番号を連絡先に登録する

通話履歴の中で、連絡先として登録されていないものを登録できます。

1 「通話履歴」タブで電話番号をロングタッチする

- メニューが表示されます。

2 「連絡先に追加」

3 「連絡先を新規登録」

- 複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。
- すでに登録されている連絡先に登録する場合は、連絡先を選択します。

4 情報を入力して「保存」

● 通話履歴を消去する

通話履歴は自動的に追加されますが、任意の履歴またはすべての履歴を消去できます。

1 「通話履歴」タブで電話番号をロングタッチする→「通話履歴から消去」

- 該当の通話履歴が消去されます。

■ すべての通話履歴を削除する場合
「通話履歴」タブで[…]→「通話履歴を全件消去」→「OK」

お気に入りを表示する

よく使う連絡先や、お気に入りに登録した連絡先をすばやく表示できます。

1 ホーム画面で → 「お気に入り」タブをタップする

● 連絡先をお気に入りに登録する

1 「お気に入り」画面で + →登録する連絡先にチェックマークを付ける→「完了」

- 連絡先は複数選択することができます。

■ お気に入りを削除する場合

⋯ →「お気に入りから削除」→削除する連絡先にチェックマークを付ける→「完了」

SNS更新情報（近況）を表示する

連絡先に登録した友人のSNSの更新情報（Twitter、Facebook、mixi）を時系列順に一覧表示できます。

1 ホーム画面で →「近況」タブをタップする

2 更新内容をタップする

3 SNSの更新情報をタップする

- タップしたSNSサイトのページが表示されます。
- SNSの情報を表示するためには、友人のSNSアカウントを連絡先に登録する必要があります。

連絡履歴を表示する

各連絡先との連絡手段や履歴内容を時系列順に表示して確認できます。

1 ホーム画面で →「連絡先」タブをタップする

2 登録した相手の連絡先をタップする

3 プロフィール画面で「連絡履歴」タブをタップする

4 連絡履歴内容が表示された吹き出しをタップする

- 吹き出し内容に応じた画面が表示されます。

● 連絡先を統合／分割する

同じ連絡先（同じ名前やフリガナなど）が複数登録されている場合など、複数の連絡先データを1つにまとめる（統合する）ことができます。

- 統合する場合
  プロフィール画面で ⋯ →「編集」→ ⋯ →「統合」→統合する連絡先をタップ
- 統合を解除（分割）する場合
  プロフィール画面で ⋯ →「編集」→ ⋯ →「分割」→「OK」

電話帳コピーツールを利用する

microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で連絡先データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された連絡先データをdocomoアカウントにコピーできます。

1 ホーム画面で →「電話帳コピーツール」

- はじめてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

● docomoアカウントに保存されている連絡先をmicroSDカードにエクスポートする

1 「エクスポート」タブをタップする

2 「開始」

● 連絡先をmicroSDカードからdocomoアカウントにインポートする

1 **連絡先データが保存されたmicroSDカードをFOMA端末に取り付ける**

2 **「インポート」タブをタップし、インポートしたいファイルをタップする**

3 **「上書き」／「追加」**

● Google アカウントの連絡先を docomo アカウントにコピーする

1 **「docomoアカウントへコピー」タブをタップし、コピーしたいGoogleアカウントをタップする**

2 **「上書き」／「追加」**

おしらせ

◆他のFOMA端末の連絡先項目名（電話番号など）が本FOMA端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字はFOMA端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。

◆連絡先をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。

◆連絡先をmicroSDカードからインポートする場合は、「一括バックアップ」で作成したファイルは読み込むことができません。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

本FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスがご利用いただけます。各サービスの概要やご利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

サービス名	月額使用料	お申し込み	参照先
留守番電話サービス	有料	必要	P.60
キャッチホン	有料	必要	P.61
転送でんわサービス	無料	必要	P.62
発信者番号通知サービス	無料	不要	P.63
公共モード（電源OFF）	無料	不要	P.64

おしらせ

◆サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用になれません。

◆ネットワークサービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

◆ネットワークサービスのお申し込み、お問い合わせについては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆本書では各ネットワークサービスの概要を FOMA 端末のメニューを使って操作する方法で説明します。

◆サービス停止とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わってメッセージをお預かりするサービスです。

おしらせ

◆留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、「通話履歴」に不在着信履歴として記録され、がステータスバーに表示されます。
◆本 FOMA 端末はテレビ電話に対応しておりませんが、留守番電話サービスがテレビ電話対応に設定されているとメッセージが蓄積されてしまうため、「1412」へ音声発信をしてテレビ電話非対応に設定してください。
◆本FOMA端末にはFOMA端末内にメッセージを保存する伝言メモの機能はありません。留守番電話サービスをご利用ください。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始に設定する

お客様のFOMA端末に電話がかかる

電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

相手が伝言メッセージを録音する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を押すと、すぐに録音できる状態になります。

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることが通知される

伝言メッセージを再生する

おしらせ

◆メッセージは1件あたり最長3分、最大20件まで録音でき、最長72時間保存されます。

● 留守番電話サービスを設定する

1 ホーム画面で[⋯]→「設定」→「通話設定」→「ネットワークサービス設定」→「留守番電話サービス」

開始…留守番電話サービスを開始します。呼出時間も設定します。

呼出時間…呼出時間を0～120（秒）で入力します。呼出時間を「0」とした場合には、着信履歴に記録されません。

停止…留守番電話サービスを停止します。

設定確認…留守番電話サービスの設定状況が表示されます。

メッセージ再生…留守番電話サービスセンターへ接続します。ガイダンスに従って操作することで留守番メッセージが再生されます。

設定…留守番電話サービスセンターへ接続します。ガイダンスに従って操作することで留守番電話の設定を変更します。

メッセージ問合せ…留守番電話のメッセージがあるかどうか確認します。問い合わせ後、問い合わせが完了したことを通知するメッセージが表示されます。

件数増加時鳴動設定…「ON」に設定すると、留守番電話メッセージをお預かりしたときに、音でメッセージの到着をお知らせします。

着信通知…電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内に入ったときに着信日時や発信者番号をメッセージ（SMS）で通知する機能の設定を行います。

- 「開始」をタップすると、着信通知の対象が指定できます。「全着信」を選択すると、すべての着信が通知されます。「発番号あり」を選択すると、番号を通知している着信のみ通知されます。
- 「停止」をタップし、着信通知を行っている状態で「OK」をタップすると着信通知が停止されます。
- 「設定確認」をタップすると着信通知の設定状況が表示されます。

おしらせ

◆「設定」「メッセージ問合せ」の操作を終了したときや伝言メッセージが録音されたとき、「NTT DOCOMO:VM:XX」というSMSが受信されます。

◆留守番電話サービスセンターでメッセージをお預かりしている場合、ステータスバーに(数字は伝言メッセージの数）が表示されます。ステータスバーを下にドラッグして通知パネルを開き、「留守番電話」→「OK」をタップすると、留守番電話サービスセンターに接続してメッセージが再生されます。

は、すべてのメッセージを再生すると消去されます。

◆着信通知設定および通知に使われるメッセージ（SMS）の受信料は無料です。

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

おしらせ

◆保留中も、電話を発信した方に通話料金がかかります。

● キャッチホンを設定する

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「通話設定」→「ネットワークサービス設定」→「キャッチホン」

開始…キャッチホンサービスを開始します。

停止…キャッチホンサービスを停止します。

設定確認…キャッチホンの設定状況が表示されます。

● 通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら「保留して応答」左側の▸を右にドラッグする

- 最初の相手との通話は自動的に保留となり、後からかかってきた電話を受けます。

2 最初の相手との通話に切り替える

- 後からかかってきた相手との通話を終了する場合は、をタップします。後からかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。
- 後からかかってきた相手との通話を保留にする場合は、「切り替え」をタップします。後からかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。「切り替え」をタップするたびに通話相手が切り替わります。

● 通話中の電話を終了して、かかってきた電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら「終了して応答」左側の▸を右にドラッグする

- 通話中の相手との通話が終了し、後からかかってきた電話を受けます。

● 通話中にかかってきた電話を拒否する

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら「拒否」左側の▸を右にドラッグする

- 後からかかってきた電話を拒否します。

● 通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかける

通話中の電話を保留にして、新たに自分から別の相手に電話をかけることができます。

1 通話中に

「ダイヤル」タブが表示されます。

2 相手の電話番号を入力して

- 最初の相手との通話は自動的に保留となり、新たにかけた相手との通話に切り替わります。
- 「連絡先」タブ、「通話履歴」タブをタップすることで連絡先を検索することもできます。

3 最初の相手との通話に切り替える

- 新しくかけた相手との通話を終了するには、をタップします。新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。
- 新しくかけた相手との通話を保留にするには「切り替え」をタップします。新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。「切り替え」をタップするたびに通話相手が切り替わります。

転送でんわサービス

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話を転送するサービスです。

おしらせ

◆転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、「通話履歴」タブには不在着信履歴として記録され、ステータスバーにが表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する

↓

転送でんわサービスを開始に設定する

↓

お客様のFOMA端末に電話がかかる

↓

電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

転送でんわサービスの通話料について

発信者

転送でんわサービスのご契約者

転送先

発信者に通話料がかかります。

転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

おしらせ

◆転送でんわサービスが有効になっていても、呼び出しが継続している間に応答すれば、そのまま通話できます。

● 転送でんわサービスを設定する

1 ホーム画面で［⋯］→「設定」→「通話設定」→「ネットワークサービス設定」→「転送でんわ」

開始…「OK」→「はい」を選択すると、転送先電話番号と呼出時間を設定できます。

- **転送先電話番号**…転送先の電話番号を入力します。
- **呼出時間**…呼出時間を0～120（秒）で入力します。

呼出時間を「0」とした場合には、着信履歴に記録されません。

停止…転送でんわサービスを停止します。

転送先変更…変更する転送先の電話番号を入力して「OK」をタップすると、転送先を変更します。

転送先通話中時設定※…「はい」をタップすると、転送先が通話中の場合、着信を自動的に留守番電話サービスセンターに接続します。

設定確認…転送サービスの設定状況が表示されます。

※「留守番電話サービス」のご契約が必要です。

● 転送ガイダンスの有無を設定する

1 ホーム画面で

2 「1」→「4」→「2」→「9」→

- 音声ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って設定してください。詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

発信者番号通知

電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号を表示することができます。

1 ホーム画面で［⋯］→「設定」→「通話設定」→「ネットワークサービス設定」→「発信者番号通知」

設定…発信者番号の通知設定ができます。「通知する」をタップすると通知、「通知しない」をタップすると通知しないように設定します。

設定確認…発信者番号通知の設定状況が表示されます。

おしらせ

◆圏外のときは発信者番号通知の操作はできません。
◆相手の電話機が発信者番号表示が可能なときだけ有効です。
◆電話をかけたときに、発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか「186」を付けてからおかけ直しください。

公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

- 留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2は、公共モード（電源OFF）に優先して動作します。

※1 呼出時間が0秒以外での電話に対しては、公共モード（電源OFF）のガイダンスのあとにサービスが動作します。
※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。

1 ホーム画面で

2 「✻25251」を入力→

• 公共モード（電源OFF）が設定されます（ホーム画面上の変化はありません）。

■ **公共モード（電源OFF）を解除する**
ホーム画面で→「✻25250」を入力→

■ **公共モード（電源OFF）の設定を確認する**
ホーム画面で→「✻25259」を入力→
• 現在の設定状況を確認できます。

● 公共モード（電源OFF）を設定すると

公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。サービスエリア外または電波が届かないところにいるときも、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

各種設定

無線とネットワーク

各種ネットワークの有効／無効を設定したり、ネットワーク接続に必要な設定を行います。

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「無線とネットワーク」

- ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
機内モード	電波を発する機能を有効／無効にします。（P.65）
Wi-Fi	Wi-Fi機能をON／OFFにします。
Wi-Fi設定	Wi-Fi機能を使用するための各種設定を行います。（P.65）
Bluetooth	Bluetooth機能をON／OFFにします。
Bluetooth設定	Bluetooth機能を使用するための各種設定を行います。（P.112）
Wi-Fiアクセスポイント	FOMA端末をアクセスポイント（親機）として利用できます。（P.69）
VPN設定	VPN（仮想専用線）を用いた通信をするための設定を行います。
モバイルネットワーク	アクセスポイントの設定やデータローミング、ネットワークモードの設定を行います。（P.69）

機内モードに設定する

機内モードを設定すると、FOMA端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信など）が無効になります。

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「無線とネットワーク」

2 「機内モード」にチェックマークを付ける

おしらせ

◆「機内モード」にチェックを付けるとWi-Fi、Bluetooth機能もOFFになりますが、機内モード中に再びONにすることができます。病院、飛行機、電車の優先席付近など、電波の使用を禁止された区域では、Wi-Fi、Bluetooth機能を使用しないでください。

Wi-Fiを設定する

本FOMA端末は、Wi-Fiネットワークや公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続してインターネットなどを利用できます。
接続するには、アクセスポイントの接続情報を設定する必要があります。

おしらせ

◆Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り

替わります。切り替わったままで利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
◆Wi-Fiを使用しないときはOFFにすることで、電池の消費を抑制できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などで通信が途切れたり音声が乱れることがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- ●FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- ●10m以内で使用する場合は、ワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

● Wi-Fiネットワークのステータス

本FOMA端末がWi-Fiネットワークに接続されている場合、ステータスバーに が表示されます。また、ネットワークの通知が有効となっている場合、範囲内でセキュリティで保護されていないWi-Fiネットワークを検出すると、常に がステータスバーに表示されます。

● Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「無線とネットワーク」

2「Wi-Fi」

- チェックマークが付いていれば、Wi-Fiネットワークが使用できます。

3「Wi-Fi設定」

4 接続するWi-Fiネットワーク名をタップする

- セキュリティで保護された Wi-Fi ネットワークに接続を試みると、そのWi-Fiネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。「パスワード」ボックスをタップし、ネットワークのパスワードを入力して「接続」をタップしてください。
- 通常、パスワード入力時は、入力直後の文字だけが表示され、それ以前に入力した文字は、文字数分だけ「・」が表示されます。
  「パスワードを表示」にチェックマークを付けると、入力した文字をすべて表示させることができます。
- 「Wi-Fi設定」画面で［…］→「優先順位の変更」→変更したいネットワークの名称をロングタッチすることで接続の優先順位を変更することができます。

おしらせ

◆接続可能なネットワークは、オープンネットワークとセキュリティで保護されたネットワークの2種類があります。これは、Wi-Fiネットワーク名に （オープンネットワーク） （セキュリティで保護されたネットワーク）のように異なったアイコンで表示されます。
◆また、アイコンの表示により電波の強度が表されます。

電波が強い場合	
電波が弱い場合	

◆接続可能なネットワークであっても、アクセスポイントの設定によってはネットワーク接続名が表示

されません。こうした場合でも、ネットワークに接続することは可能です。「Wi-Fiネットワークを追加する」（P.67）をご参照ください。

◆Wi-Fi 接続する場合、接続に必要となる IP 情報は、ネットワーク内のDHCPサーバーから自動的に取得されます。ただし、個別に指定することもできます。この方法について詳しくは、「静的IPアドレスを指定してWi-Fiネットワークに接続する」（P.67）をご参照ください。

● 静的IPアドレスを指定してWi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi設定」

2 ［…］→「詳細設定」→「静的IPを使用する」

- 「静的IPを使用する」にチェックマークが付き、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS 1」「DNS 2」の5項目が設定できるようになります。

3 「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS 1」「DNS 2」をそれぞれ順にタップする

- 静的 IP アドレスを使用するには、「IP アドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS1」の設定が必要です。

● セキュリティで保護されていない Wi-Fi ネットワークを検出したら通知する

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi設定」

2 「Wi-Fi」にチェックマークを付ける

3 「ネットワークの通知」にチェックマークを付ける

- セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワークを検出した場合、自動的に通知されます。

おしらせ

◆あらかじめWi-FiをONにしておく必要があります。

● Wi-Fiネットワークを追加する

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi設定」

2 「Wi-Fiネットワークを追加」

3 「ネットワークSSID」ボックスをタップし、ネットワークSSIDを入力する

4 「セキュリティ」

- 「セキュリティ」メニューが表示されます。「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」の4種類から適切なものを選択します。
- 必要に応じて、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティ情報を入力してください。

5 「保存」

おしらせ

◆「802.1x EAP」で使用する証明書のインストールは「現在地情報とセキュリティ」（P.73）をご参照ください。

● Wi-Fi 簡単設定で Wi-Fi ネットワークに接続する

アクセスポイント対応機器が「らくらく無線スタート」、「WPS」に対応している場合、アクセスポイントに接続するために必要なESSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定することができます。

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi設定」→「Wi-Fi簡単設定」

2「らくらく無線スタート」／「WPS」

■らくらく無線スタートの場合

- アクセスポイントの POWER ランプが緑色に点滅するまで「らくらくスタート」ボタンを押し続けてください。
- アクセスポイントの POWER ランプがオレンジ色に点灯するまで、もう一度「らくらくスタート」ボタンを押し続けてください。
- ステータスバーに［Wi-Fiアイコン］が表示されたら、Wi-Fiネットワークを利用できます。

■WPSの場合

- 「プッシュボタン方式」：アクセスポイントの検索がはじまりますので、アクセスポイント本体またはアクセスポイントの設定画面のプッシュボタンを押してください。以降は画面の指示に従って操作を行います。
- 「PINコード入力方式」:アクセスポイントの検索がはじまります。以降は画面の指示に従って操作を行います。FOMA端末の画面に「PINコード」（WPS用PINコード）が表示されたら、その番号をアクセスポイントに登録してください。
- ステータスバーに［Wi-Fiアイコン］が表示されたら、Wi-Fiネットワークを利用できます。

● Wi-Fi ネットワークのスリープ機能を設定する

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi設定」

2 ［…］→「詳細設定」→「Wi-Fiのスリープ設定」

- メニューが表示されます。

3「画面が消灯し15分間操作を行わないとき」「電源接続時はスリープにしない」「スリープにしない」のいずれかを選択する

● Wi-Fiネットワークのパスワードを変更する

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi設定」

2 Wi-Fiネットワーク名をロングタッチする

- メニューが表示されます。

3「ネットワークを変更」

- 設定状況が表示されます。「パスワード」ボックスをタップし、新たなパスワードを入力します。

● Wi-Fiネットワークから切断する

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi設定」

2 切断するWi-Fiネットワーク名をロングタッチする

• メニューが表示されます。

3「ネットワークから切断」

Wi-Fiテザリングを利用する

Wi-Fi接続によるテザリング機能を利用することができます。
FOMA端末をアクセスポイント（親機）として利用することで、Wi-Fi対応機器（子機）を携帯電話回線を通じてインターネットに接続したり、ゲーム対戦などのサービスを利用できます。
●本機能は日本国内でのみ利用できます。

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fiアクセスポイント」→「Wi-Fiアクセスポイントの設定」

2「Wi-Fiアクセスポイントを設定」→「ネットワークSSID」、「セキュリティ」、「パスワード」を設定→「保存」

■ 通信チャネルを設定する
「その他設定」→「通信チャネルの設定」→通信チャネルをタップ→「保存」

3「Wi-Fiアクセスポイント」にチェックマークを付ける→ご利用上の注意を確認→「OK」

4 Wi-Fi対応機器（子機）にFOMA端末と同じネットワークSSID、同じセキュリティの設定を行う

• Wi-Fi対応機器（子機）とFOMA端末（親機）が接続します。

おしらせ

◆Wi-Fiテザリング利用時に、近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、Wi-Fi対応機器（子機）から正しく検索できない場合があります。その場合は通信チャネルを変更してください。
◆同時に接続できるWi-Fi対応機器は5台までです。
◆お買い上げ時の「セキュリティ」の設定は、「Open」（セキュリティなし）となっております。必要に応じて設定を行ってください。

アクセスポイント（モバイルネットワーク）を設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

● 利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

● アクセスポイントを追加で設定する

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

2 [⋯] →「新しいAPN」

3「名前」→ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 →「OK」

4「APN」→ アクセスポイント名を入力 →「OK」

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力する

6 [⋯] →「保存」

おしらせ

◆MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で [⋯] →「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

2 [⋯] →「初期設定にリセット」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

● mopera Uを設定する

1 ホーム画面で [⋯] →「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

2「mopera U（スマートフォン定額）」または「mopera U設定」のラジオボタンをタップして選択する

おしらせ

◆「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

◆「mopera U（スマートフォン定額）」をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

通話設定

各種ネットワークサービスや国際ダイヤルアシストに関する設定を行います。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「通話設定」

- ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
ネットワークサービス設定	
留守番電話サービス	留守番電話サービスに関する設定を行います。（P.60）
キャッチホン	キャッチホンに関する設定を行います。（P.61）
転送でんわ	転送でんわに関する設定を行います。（P.62）
発信者番号通知	電話をかけたときに相手に発信者番号を表示するかどうかを設定します。（P.63）
国際ダイヤルアシスト設定	
自動変換機能設定	滞在先から滞在国外へ電話をかけるとき「0」から始まる電話番号を、設定した国番号に自動で変換します。
国番号設定	国際電話をかけるときに使用する国名と国番号を登録します。

音

着信音の種類や音量、マナーモード、バイブレータなどの設定を行います。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「音」

- ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
全般	
マナーモード	マナーモードにする／しないを設定します。マナーモードにすると、音楽／動画メディア、アラームやカメラのシャッター音以外は消音になります。
バイブレータ	バイブレータを使用する場面を設定します。
音量	着信音、音楽／動画メディア、アラーム、通知音の音量を設定します。
着信	
着信音	着信音として使用する音を設定します。
通知	
通知音	通知音として使用する音を設定します。
フィードバック	
タッチ操作音	ダイヤルパッド操作時に音を鳴らす／鳴らさないを設定します。
選択時の操作音	メニュー選択時に音を鳴らす／鳴らさないを設定します。
画面ロックの音	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らす／鳴らさないを設定します。
入力時バイブレーション	キー操作時など特別な操作を行った場合にバイブレーションが動作する／しないを設定します。

おしらせ

◆バイブレータの振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。

表示

画面の明るさやアニメーションなど表示に関する設定を行います。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「表示」

・ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
画面の自動回転	本FOMA端末を回転した場合、画面表示を自動的に変更する／しないを設定します。
アニメーション表示	アニメーション表示の設定を行います。
バックライト消灯	操作しない状態がどれだけ継続したらバックライトを消灯するかを設定します。

おしらせ

◆電池の残量が少なくなると、省電力のため画面が暗くなります。

ecoモード

省電力機能に関する設定を行います。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「ecoモード」

・ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
ecoモード	ecoモードを設定します。「オート」に設定すると、「オート設定」で設定した電池残量に応じて、自動でecoモードをONにします。
ecoモードオプション設定	ecoモードに関する設定を行います。
オート設定	ecoモードを「オート」に設定したとき、自動でecoモードをONにする電池残量を設定します。

おしらせ

◆ecoモードの設定内容によっては、ecoモードが起動すると、Wi-FiやBluetooth機能、GPS機能、自動同期、ライブ壁紙がOFFになる場合があります。

現在地情報とセキュリティ

GPSや画面ロック、パスワードの設定などを行います。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「現在地情報とセキュリティ」

- ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
現在地	
無線ネットワークを使用	Wi-Fi/モバイルネットワークでおおよその位置情報を特定できます。
GPS機能を使用	GPS機能を使用する／しないを設定します。
ロック解除	
ロック解除セキュリティの設定(変更)	ロックのセキュリティを設定・変更します。
画面ロック	
画面ロックセキュリティ	画面ロックを解除する際、セキュリティ情報を入力するかどうかを設定します。
おサイフケータイ ロック	
おサイフケータイロック設定	おサイフケータイの機能のロックを使用する／しないを設定します。使用する場合は必要な設定を行います。
PIN	
PIN設定	ドコモUIMカードのロックを使用する／しない、使用する場合は必要な設定を行います。
パスワード	
パスワードを表示	パスワード入力時に、入力した文字を表示する／しないを設定します。
デバイス管理	
デバイス管理者を選択	本FOMA端末の管理者を有効／無効にします。有効なデバイス管理者が設定されている場合に選択できます。
認証情報ストレージ	
安全な認証情報の使用	安全な証明書と他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可する／しないを設定します。
SDカードからインストール	暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。
パスワードの設定	認証情報ストレージのパスワードを設定／変更します。
ストレージの消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツを消去してパスワードをリセットします。

暗証番号とドコモUIMカードの保護について

本FOMA端末を便利で安全にお使いいただくため、本FOMA端末をロックするためのコードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途に応じて上手に使い分けて、本FOMA端末をご活用ください。

おしらせ

◆本 FOMA 端末に設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」など容易に推測できる番号は避けてください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
◆暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
◆暗証番号を忘れてしまった場合は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類や本FOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
◆PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

● ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンで新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

おしらせ

◆「My docomo」については、本書裏面の裏側をご覧ください。

● PIN1コード／PIN2コード

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。
PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

おしらせ

◆本FOMA端末ではPIN2コードは利用できません。
◆別のFOMA端末で利用していたドコモUIMカードを本FOMA端末に差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
◆PIN1／PIN2コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1／PIN2コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

● PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

● ドコモUIMカードのPINを有効にする

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「現在地情報とセキュリティ」

2 「PIN設定」

- 「PIN設定」画面が表示されます。

3 「PIN1コード入力設定」

- 「PIN1コード入力設定」画面が表示されます。

4 PIN1コードを入力して「OK」

- 電源を入れたときにPIN1コードの入力が求められます。

● PIN1コードを変更する

PIN1コードを変更するには、あらかじめPINを有効にしておく必要があります。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「現在地情報とセキュリティ」

2 「PIN設定」

- 「PIN設定」画面が表示されます。

3 「PIN1コード変更」

- 「PIN1コード変更」画面が表示され、PIN1コードの入力が求められます。

4 すでに設定されているPIN1コードを入力して「OK」

- 「PIN1コード変更」画面でPIN1コードの入力が求められます。

5 新たに設定するPIN1コードを入力して「OK」

- 「PIN1コード変更」画面で再びPIN1コードの入力が求められます。

6 手順5で入力したものと同じPIN1コードを入力して「OK」

おしらせ

◆PIN1コードは、初期設定で「0000」となっています。

● PINコードを入力する

本FOMA端末の電源を入れたときにPINコードの入力が求められたら、以下のように操作します。

1 ドコモUIMカードのPINコードを入力して「OK」

● ドコモUIMカードのPUKロックを解除する

SIMカードがPUKでロックされている旨のメッセージが表示されたら、以下のように操作します。

1 「緊急通報」

2 「⚹⚹05⚹[PUKコード]⚹[新しいPIN]⚹[新しいPIN]#」と入力する

- 例えば、PUKコードが「88888888」で、ドコモUIMカードのPIN1コードを「2580」に変更する場合は、「⚹⚹05⚹88888888⚹2580⚹2580#」と入力します。

アプリケーション

アプリケーションに関する設定を行います。

1 ホーム画面で[MENU]→「設定」→「アプリケーション」

- ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
提供元不明のアプリ	Androidマーケットで提供されるアプリケーション以外のアプリケーションのインストールを許可する／しないを設定します。
アプリケーションの管理	インストールされているアプリケーションをリスト表示／削除します。
実行中のサービス	実行中のサービスをリスト表示／停止します。
ストレージ使用状況	アプリケーションのストレージ使用状況を表示します。
電池使用量	アプリケーションごとの電池の使用量を確認します。
開発	アプリケーション開発に必要となる各種設定を行います。

アカウントと同期

アカウントおよび同期の設定を行います。

1 ホーム画面で[MENU]→「設定」→「アカウントと同期」

- ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
同期の基本設定	
バックグラウンドデータ	同期機能を有するアプリケーションが常に同期およびデータの送受信を可能とする／しないを設定します。
自動同期	同期機能を有するアプリケーションが自動的にデータを同期するようにする／しないを設定します。
アカウントを管理	
Microsoft Exchange、Google など本FOMA 端末で使用するアカウントを追加／削除します。 ・docomoアカウントは削除できません。	

オンラインサービスアカウントを設定する

Facebook、Google、Microsoft® Exchange ActiveSync®、Twitter、mixiなどのオンラインサービスで使用するアカウントを設定することで、本FOMA端末で情報が更新できます。また、サーバーの情報が更新された場合、自動的に同期するようにも設定できます。また、不要なアカウントは削除することもできます。

お買い上げ時は、Twitter、mixi、Facebookなどのアカウントを設定してご利用いただけます。また、ア

カウント管理を行うAndroidマーケットなどのアプリケーションをダウンロードすることで、設定可能なアカウントが増える場合があります。

おしらせ

◆Facebookアカウントをお持ちでない場合は、http://www.facebook.com でアカウントが取得できます。
◆Twitterアカウントをお持ちでない場合は、http://twitter.com でアカウントが取得できます。
◆mixiアカウントをお持ちでない場合は、http://mixi.jp でアカウントが取得できます。

● オンラインサービスアカウントを追加する

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「アカウントと同期」

2 「アカウントを追加」

3 アカウントを設定するオンラインサービスをタップする

- 画面の指示に従ってログイン情報などを入力してください。
- アカウントの追加処理が終了すると、「アカウントを管理」グループに追加したオンラインサービスが表示されます。

おしらせ

◆「バックグラウンドデータ」にチェックマークを付けると、FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行います。また、「自動同期」にチェックマークを付けると、アプリケーションが自動的にデータの同期を行います。これらの動作に伴い、パケット通信料がかかる場合があります。また、チェックマークを外している場合と比較すると電池が消耗します。

● オンラインサービスのデータを手動で同期する

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「アカウントと同期」

2 設定を行うアカウントをタップする

- オンラインサービスの同期データリストが表示されます。

3 同期するデータをタップする

● オンラインサービスアカウントを削除する

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「アカウントと同期」

2 削除するアカウントをタップする

- 「データと同期」画面が表示されます。

3 「アカウントを削除」

4 「アカウントを削除」

おしらせ

◆最初に設定したGoogleアカウントは上記の操作では削除できません。最初に設定したGoogleアカウントを削除するには、ホーム画面で[…]→「設定」→「プライバシー」→「データの初期化」でFOMA端末を初期化する必要があります。

プライバシー

バックアップと復元、初期化の操作を行います。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「プライバシー」

- ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
バックアップと復元	
データのバックアップ	FOMA端末の設定や、アプリケーションのデータをGoogleサーバーにバックアップします。
自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元します。
個人データ	
データの初期化	本FOMA端末内のすべてのデータを消去します。 「SDカード内データを消去」にチェックマークを付けると、microSDカード内のデータもすべて削除されます。

ストレージ

SDカードの状態表示、マウント、フォーマット、内部メモリの空き容量表示を行います。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「ストレージ」

- ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
SDカード	
合計容量	挿入されているmicroSDカードの全容量を表示します。
空き容量	挿入されているmicroSDカードの空き容量を表示します。
SDカードをマウント／SDカードのマウント解除	microSDカードをマウント／マウント解除します。
SDカード内データを消去	microSDカードを本FOMA端末用にフォーマットします。フォーマットする場合は、あらかじめmicroSDカードのマウントを解除しておいてください。
内部ストレージ	
空き容量	端末内部メモリの空き容量を表示します。

おしらせ

◆microSDカードのフォーマットを行うと、microSDカード内の内容がすべて消去されますのでご注意ください。

検索

検索の設定やショートカットの削除操作を行います。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「検索」

- ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
ウェブ	
Google検索の設定	Google検索候補を表示する／しない、本FOMA端末の位置情報をGoogleと共有する／しない、カスタマイズされた検索履歴を表示する／しないなどを設定します。
電話	
検索対象	本FOMA端末内で検索対象とするデータの範囲（ウェブ、音声検索、アプリケーション、メッセージ、連絡先、音楽）を指定します。
ショートカットを消去	クイック検索ボックスで最近使用した検索候補へのショートカットを消去します。

言語とキーボード

本FOMA端末の使用言語やキーボードの設定を行います。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「言語とキーボード」

- ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
言語設定	
言語を選択	FOMA端末で使用する言語（日本語／English）を選択します。
単語リスト	任意の単語を辞書に登録し、Androidキーボードでの文字入力時に、変換候補として表示させることができます。
キーボード設定	
Androidキーボード	Androidキーボードについて各種設定を行います。
ATOK	ATOKアプリの設定を行います。

音声入出力

音声の入出力に関する設定を行います。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「音声入出力」

- ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
音声入力	
音声認識装置の設定	
言語	入力する音声を認識させる言語を設定します。
セーフサーチ	検索結果のフィルタリングを設定します。
不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な結果を表示する／しないを設定します。
音声出力	
テキスト読み上げの設定	
サンプルを再生	音声合成のサンプルデータを再生します。
常に自分の設定を使用	アプリケーションの設定を常に「デフォルト設定」の欄で設定した内容で動作するかどうかを設定します。
デフォルト設定	
既定のエンジン	テキスト読み上げに使用する音声合成エンジンを設定します。
音声データをインストール	音声合成に必要なデータをインストールします。
音声の速度	テキストの読み上げ速度を設定します。
言語	テキスト読み上げに使用する言語固有の音声を設定します。
エンジン	
Pico TTS	Pico TTSを設定します。

ユーザー補助

ユーザー補助に関するアプリケーションのダウンロード／インストールと設定を行います。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「ユーザー補助」

- ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
ユーザー補助	ユーザー補助サービスを有効にするか無効にするかを設定します。
電源キー	
電源キーで通話を終了	電源キーを押して、通話を終了できるように設定します。

おしらせ

◆お買い上げ時は、「ユーザー補助アプリケーションが見つかりません」とメッセージが表示されます。ユーザー補助を設定したい場合は、あらかじめAndroidマーケットから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

日付と時刻

日付や時刻に関する設定を行います。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「日付と時刻」

- ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
自動	ネットワークを介して日付と時刻の情報を取得し、自動的に設定します。
日付設定	日付の設定を行います。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを手動で設定します。
時刻設定	時刻の設定を行います。
24時間表示	24時間表示とするか、12時間表示とするかを設定します。
日付形式	日付の表示形式を選択します。

端末情報

本FOMA端末に関する各種情報を表示します。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「端末情報」

- ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

項目	内容
ソフトウェア更新	本FOMA端末のソフトウェアを最新のソフトウェアに更新します。(P.154)
メジャーアップデート	FOMA端末のOSのバージョンアップ（メジャーアップデート）を行います。(P.164)
MEDIAS NAVI	MEDIAS NAVIからの更新通知を受けるように設定します。
端末の状態	本FOMA端末に関する各種情報を表示します。
電池使用量	アプリケーションごとの電池の使用量を確認します。
法的情報	著作権情報や利用規約に関する情報を表示します。
モデル番号	本FOMA端末のモデル番号（機種名）を表示します。
ファームウェアバージョン	本FOMA端末で稼働中のOSのバージョンを表示します。
ベースバンドバージョン	本FOMA端末で稼働中のベースバージョンを表示します。

項目	内容
カーネルバージョン	本FOMA端末で稼働中のOSで使用されているカーネルのバージョンを表示します。
ビルド番号	本FOMA端末で稼働中のOSのビルド番号を表示します。

自局番号を表示する

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「端末情報」

2 「端末の状態」

- 「電話番号」として自局番号が表示されます。

メール／インターネット

Eメール

mopera Uや一般のサービスプロバイダが提供するEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

Eメールアカウントを設定する

1 ホーム画面で▦→「メール」

- 「メールアカウントの登録」画面が表示されます。

2 メールアドレスとパスワードを入力する

3 「次へ」

- 以降は画面に従って設定してください。

おしらせ

◆ここで設定した内容は、後から変更できます。詳しくは「Eメールの設定を変更する」（P.85）をご参照ください。

Eメールを開く

1 ホーム画面で▦→「メール」

- 「受信トレイ」画面が表示されます。

おしらせ

◆複数のメールアカウントを設定している場合は、「受信トレイ」画面で[…]→「アカウント」をタップし、登録しているアカウントをタップして切り替えることができます。

Eメールを作成する／送信する

1 「受信トレイ」画面で[…]→「作成」

- 「作成」画面が表示されます。

2 「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する

3 「件名」ボックスに件名を入力する

4 「メッセージを作成」ボックスにメッセージを入力する

- ファイルを添付する場合は、[…]→「添付ファイルを追加」→ファイルを選択します。添付ファイルを選択するアプリケーションをタップします。

5 「送信」

- 下書き保存する場合は、[…]→「下書き保存」をタップします。

おしらせ

◆「To」ボックスの右側に❗が表示された場合、無効なメールアドレスが指定されています。入力内容を確認して修正してください。

◆CcまたはBccで送信するには「作成」画面で[…]→「Cc/Bccを追加」をタップします。「作成」画面に「Cc」ボックスと「Bcc」ボックスが表示されます。
◆添付ファイル名の右側の×をタップすると、添付ファイルが削除されます。
◆下書きとして保存したメールは、再び「作成」画面に表示し、必要に応じて内容を修正して送信できます。「受信トレイ」画面で[…]→「フォルダ」→「下書き」をタップしてください。「下書き」画面が表示され、下書き保存されたメールがリスト表示されます。いずれかをタップすると、「作成」画面に表示されます。

Eメールを受信する／表示する

● Eメールを表示する

1「受信トレイ」画面でいずれかのメールをタップする

おしらせ

◆「メール」アプリケーションを開くことで、メールサーバーに自動的に接続し、新着メールがあれば受信して「受信トレイ」画面に追加されます。ただし、「メール」アプリケーションを開いたままの状態で、かつ新着メールを自動的に確認しない設定になっていると、新着メールは自動的に受信されません。こうした場合には、「受信トレイ」画面を更新します。新着メールを自動的に確認する設定について詳しくは「Eメールの設定を変更する」(P.85)をご参照ください。

●「受信トレイ」画面を更新する

1「受信トレイ」画面で[…]→「更新」

• 新着メールがある場合は受信し、「受信トレイ」に表示されます。

Eメールを返信する／転送する

受信したメールに返信したり、送信者以外の相手に転送することもできます。

● Eメールを返信する

1 受信したメールの内容が表示された状態で「返信」

2「メッセージを作成」ボックスをタップ→メッセージを入力する→「送信」

おしらせ

◆受信したメールの内容が表示された状態で[…]→「返信」をタップすることで「作成」画面を表示することもできます。
◆「作成」画面の1番上の「To」ボックスは、送信相手のメールアドレスを指定します。ここには、送信者のメールアドレスが表示されますが、カンマの後に別のメールアドレスを入力すると、送信者以外にも同報送信できます。
◆「作成」画面の上から2番目の「件名」ボックスは、件名を入力します。送信時の件名を引用し「Re:～」と表示されますが、この「件名」ボックスをタップすることで任意の件名に変更できます。

● Eメールを全員に返信する

1 受信したメールの内容が表示された状態で「全員に返信」

2「メッセージを作成」ボックスをタップ→メッセージを入力する→「送信」

おしらせ

◆受信したメールの内容が表示された状態で［⋯］→「全員に返信」をタップすることで「作成」画面を表示することもできます。

● Eメールを転送する

1 受信したメールの内容が表示された状態で［⋯］→「転送」

- 「作成」画面が表示されます。

2 「To」ボックスをタップ→転送相手のメールアドレスを入力する

3 「メッセージを作成」ボックスをタップ→メッセージを入力する→「送信」

おしらせ

◆「作成」画面の上から2番目の「件名」ボックスは、件名を入力します。送信時の件名を引用し「Fwd: ～」と表示されますが、この「件名」ボックスをタップすることで任意の件名に変更できます。

Eメールを削除する

1 受信したメールの内容が表示された状態で「削除」

おしらせ

◆「受信トレイ」画面で削除するメッセージをロングタッチするとメニューが表示されます。ここで「削除」をタップすることで削除することもできます。

アカウントを追加する

「メール」アプリケーションでは、複数のアカウントを登録して利用することができます。

1 「受信トレイ」画面で［⋯］→「アカウント」

2 ［⋯］→「アカウントを追加」

- 「メールアカウントの登録」画面が表示されます。

3 画面の表示に従い設定を行う

Eメールの設定を変更する

1 「受信トレイ」画面で［⋯］→「アカウントの設定」

- 「アカウントの設定」画面が表示されます。

2 必要に応じて設定を変更する

全般設定	アカウント名、名前、署名、新着メールを確認する頻度、どのアカウントを優先アカウントにするかなどを設定します。
通知設定	新着メール受信時の通知、メール受信時の着信音／バイブレーションなどを設定します。
サーバー設定	受信／送信サーバーの設定を行います。

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。

- spモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で▦→「spモードメール」

- はじめてご利用される際には、利用規約に同意の上、Androidマーケット（P.115）からspモードメールアプリをダウンロードし、初期設定を行う必要があります。

おしらせ

◆アプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかる場合があります。

Gmail

Googleアカウントをお持ちの場合は、Gmailを利用してメールが送受信できます。Googleアカウントをお持ちでない場合は、アカウントを取得することで使用できます。

Gmailを開く

1 ホーム画面で▦→「Gmail」

- Gmailが開き、「受信トレイ」画面が表示されます。

おしらせ

◆Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントを追加」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。

メールを作成する／送信する

新たにメールを作成し送信できます。また、画像を添付して送信することもできます。なお、Gmailは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからのメールの受信を拒否する設定をしていると、メールを受信できません。

1 「受信トレイ」画面で[…]→「新規作成」

- 「作成」画面が表示されます。

2 「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する

- アルファベットまたは名前を入力すると、連絡先に登録されているメールアドレスが候補として表示されます。

3 「件名」ボックスに件名を入力する

4 「メッセージを作成」ボックスにメッセージを入力する

- 画像ファイルを添付するには、[…]→「添付」をタップします。「選択」画面が表示されるので、添付する画像をタップしてください。
- Gmailでは動画の添付はできません。

5 […]→「送信」

- 下書き保存する場合は、[…]→「下書き保存」をタップします。

おしらせ

- ◆複数の宛先に送信する場合は、それぞれのメールアドレスをカンマで区切って入力してください。
- ◆CcまたはBccで送信するには「作成」画面で[…]→「Cc/Bccを追加」をタップします。「作成」画面に「Cc」ボックスと「Bcc」ボックスが表示されます。
- ◆メモリ容量に空きがある限り、送信する宛先の数に制限はありません。
- ◆下書き保存したメールを表示して、編集したり送信するには、「受信トレイ」画面で[…]→「ラベルを表示」をタップします。「ラベル」画面が表示されるので「下書き」をタップすると、下書き保存されたメールが表示されます。いずれかのメールをタップすることで、メールが「作成」画面に表示され、編集できます。

メールを受信する／表示する

Gmailは、自動同期が設定されており、通信エリア内にいる場合、本FOMA端末で自動的に受信されます。メールを受信した場合、通知設定に応じて着信音が鳴ったり、バイブレータが動作します。自動同期について詳しくは「アカウントと同期」(P.76)、通知設定について詳しくは「音」(P.71)をご参照ください。

● メールを表示する

1 メールの着信通知があったら、ステータスバーを下へドラッグして通知パネルを開く

- 通知パネルが表示されます。

2 通知メッセージをタップする

- メールの内容が表示されます。

おしらせ

- ◆メールの内容を表示している状態でメールアドレスの左の をタップすると、連絡先に登録できます。また、すでに登録済みの場合、登録内容や連絡先の内容を表示できます。
- ◆メールの送信者がGoogleトークの友だちとして登録されている場合、ステータス(オンライン、取り込み中など)が色付きのアイコンで名前の右に表示されます。詳しくは、「トーク」(P.98)をご参照ください。
- ◆受信したメールの添付ファイルが画像ファイルである場合のみmicroSDカードに保存できます。ただし、「.bmp」ファイルは保存できません。また、microSDカードを挿入していない場合、添付ファイルは保存できません。
- ◆受信したメールの送信者名は、送信側で設定している名前が表示されます。

●「受信トレイ」画面を更新する

1 「受信トレイ」画面で[…]→「更新」

- 本 FOMA 端末の Gmail アプリケーションとGmailアカウントを同期し、新着Eメールがあった場合、受信トレイの表示が更新されます。

メールを返信する／転送する

受信したメールに返信することができます。送信者が複数の相手に対して送信している場合、全員に対して返信することもできます。また、受信したメールを第三者に転送することもできます。

● メールを返信する

1 **受信したメールの内容が表示された状態で、メールアドレスの横にある をタップする**

2 **「メッセージを作成」ボックスをタップ→メッセージを入力する**

3 **[…]→「送信」**

● メールを全員に返信する

1 **受信したメールの内容が表示された状態で、メールアドレスの横にある をタップする**

2 **「全員に返信」**

3 **「メッセージを作成」ボックスをタップ→メッセージを入力する**

4 **[…]→「送信」**

● メールを転送する

1 **受信したメールの内容が表示された状態で、メールアドレスの横にある をタップする**

2 **「転送」**

3 **「To」ボックスをタップ→転送相手のメールアドレスを入力する**

4 **「メッセージを作成」ボックスをタップ→メッセージを入力する**

5 **[…]→「送信」**

メールを削除する

1 **受信したメールの内容が表示された状態で「削除」**

メールをアーカイブする

スレッド単位でメールをアーカイブとして保存することができます。アーカイブしたメールは受信トレイに表示されなくなります。ただし、削除とは異なり、必要に応じて再び表示することができます。

● スレッドをアーカイブする

1 **受信したメールの内容が表示された状態で「アーカイブ」**

- 「受信トレイ」画面が表示され、アーカイブを行った旨のメッセージが表示されます。

おしらせ

◆「取消」をタップするとアーカイブを取り消すことができます。

● アーカイブしたスレッドを「すべてのメール」画面に表示する

1 **「受信トレイ」画面で[…]→「ラベルを表示」→「すべてのメール」**

- 「すべてのメール」画面が表示され、アーカイブされたスレッドも表示されます。

メールを検索する

1 「受信トレイ」画面で［…］→「検索」

2 検索文字を入力して🔍

- 検索文字に一致するメールがリスト表示されます。

スレッドの管理

「受信トレイ」画面でいずれかのスレッドをロングタッチするとメニューが表示されます。ここで表示されるメニューにより以下のような操作ができます。

開く	スレッドを開きます。
アーカイブ	スレッドをアーカイブします。アーカイブについて詳しくは「メールをアーカイブする」（P.88）をご参照ください。
ミュート	スレッド全体をミュートします。ミュートすると、スレッドが受信リストに表示されなくなります。ミュートしたスレッドは、「受信トレイ」画面で［…］→「ラベルを表示」→「すべてのメール」をタップすると再び受信トレイに表示できます。
未読にする	スレッドを開くと自動的にステータスが既読に変更されます。既読のスレッドの場合は、「未読にする」をタップすることでステータスを未読にできます。未読のスレッドの場合は、「既読にする」をタップすることでステータスを既読にできます。
削除	スレッドを削除します。
スターを付ける	スレッドの星型アイコンを金色にします。すでに金色になっている星型アイコンのスレッドの場合には、スレッドをロングタッチすると「スターをはずす」が表示され、タップすると星型アイコンがグレーになります。
ラベルを変更	このメニューをタップすると、メールを分類するのに便利な「ラベル」メニューが表示されます。
迷惑メールを報告	スレッドが削除され、迷惑メールとしてGoogleに報告されます。
ヘルプ	Googleモバイルヘルプページが表示され、Googleが提供するモバイル用ソフトウェアの情報が参照できます。

Gmailの設定を変更する

1 「受信トレイ」画面または受信したメールの内容が表示された状態で［…］→「その他」→「設定」

2 必要に応じて設定を変更する

全般設定	署名、操作の確認を行うかどうか、文字サイズ、ラベルなどを設定します。検索履歴を消去することもできます。
通知設定	新着メール受信時の通知、メール受信時の着信音／バイブレーションなどを設定します。

SMS

他の端末へ全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）までのテキストメッセージが送受信できます。

メッセージ（SMS）を送信する

1 ホーム画面で▦→「メッセージ」

2「新規作成」

3「To」ボックスをタップ→送信相手の電話番号を入力する

- 入力した数字または漢字に前方一致する連絡先が表示されます。

4「メッセージを入力」ボックスをタップ→メッセージを入力する

5「送信」

おしらせ

◆入力できる文字数が10文字以下になった場合、「送信」の下にカウンタが表示され、残りの入力可能な文字数を表示します。

◆メッセージ入力中に［…］→「絵文字を挿入」をタップすると、絵文字が挿入できます。入力時には顔文字として表示されますが、Android搭載の端末で受信した場合、画面には絵文字で表示されます。

◆文字の入力については、「文字入力」（P.47）をご参照ください。

◆送信したメッセージ（SMS）がいつ受信されたかを知るには、「メッセージ」画面で［…］→「設定」をタップし、「受取確認通知」にチェックマークを付けます。

◆海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

◆宛先が海外通信事業者の場合、「+」→「国番号」→「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。

メッセージ（SMS）を受信する／読む

1 ホーム画面で▦→「メッセージ」

2 いずれかのスレッドをタップする

おしらせ

◆「通知設定」が有効な場合、メッセージ（SMS）を受信すると、☺がステータスバーに表示されます。メッセージを読むには、ステータスバーを下にドラッグし、メッセージの通知パネルをタップするとメッセージ（SMS）が開きます。

受信メッセージを削除する

1「メッセージ」画面でいずれかのスレッドをタップする

- メッセージが表示されます。

2 削除するメッセージをロングタッチする

- メニューが表示されます。

3「メッセージを削除」

- 削除を確認するメニューが表示されます。「削除」をタップすると該当のメッセージが削除されます。

メッセージの電話番号を連絡先に登録する

1「メッセージ」画面で電話番号を登録するメッセージまたはスレッドをロングタッチする

2「○○を連絡先に追加」または「連絡先に追加」

3 電話番号を追加する連絡先をタップ、または「連絡先を新規登録」をタップする

メッセージ（SMS）を設定する

1「メッセージ」画面で［…］→「設定」

2 必要に応じて設定を変更する

ストレージの設定	古いメッセージを自動的に削除するかどうか、保存するメッセージの件数を設定します。
テキストメッセージ（SMS）の設定	送信したメッセージの受取確認を要求するかどうかを設定したり、ドコモUIMカードに保存したメッセージを管理したりすることができます。
通知設定	新着メッセージ受信時の通知、メッセージ受信時の着信音／バイブレーションを設定します。

スレッドを削除する

1「メッセージ」画面で削除したいスレッドをロングタッチ

- メニューが表示されます。

2「スレッドを削除」→「削除」

緊急速報「エリアメール」

FOMA端末が圏内にあるときに、気象庁や自治体から配信される緊急情報などを受信することができます。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 以下の場合はエリアメールを受信できません。
  - 圏外時
  - 電源OFF時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - 通話中
- 以下の場合はエリアメールを受信できない場合があります。
  - パケット通信中（データ通信中）
  - Wi-Fiテザリング利用中
  - ソフトウェア更新中
  - メジャーアップデート中
  - FOMA端末のメモリ容量が少ないとき
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

● 緊急速報「エリアメール」受信

内容通知画面が表示され、ブザー音（緊急地震速報）／着信音（緊急地震速報以外（災害・避難情報など））

とバイブレーション、お知らせLEDの点滅でお知らせします。

- ブザー音や着信音の音量は変更できません。

● 受信したエリアメールを後で閲覧する

1 ホーム画面で▦→「エリアメール」

2 エリアメールをタップする

緊急速報「エリアメール」の設定をする

1 エリアメール画面で[…]→「設定」→以下の項目から選択する

受信設定	
エリアメールを受信するかどうかを設定します。	
着信音	
鳴動時間	ブザー音とエリアメール用の着信音の鳴動時間を設定します。
マナーモード時設定	マナーモード設定中にエリアメールを受信した場合、ブザー音とエリアメール用の着信音を鳴動するかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認	
緊急地震速報と災害・避難情報のエリアメール受信時の動作を確認します。	
その他の設定	
受信登録	緊急情報以外に受信したい情報の「Message ID」(サービス提供者から発行されるメッセージIDを入力)と「エリアメール名」(任意の名称を入力)を登録します。

ウェブブラウザ

ブラウザを利用することで、パソコンと同じようにウェブページが閲覧できます。

ブラウザを開く

1 ホーム画面で▦→「ブラウザ」

おしらせ

◆メールやメッセージ(SMS)などに含まれるウェブページのリンクをタップして、リンク先のウェブページを閲覧することもできます。

◆お買い上げ時のホームページはドコモマーケットになっていますが、変更することができます。「ブラウザの設定を変更する」(P.98)をご参照ください。

◆パソコン用に作成されたウェブページを表示すると、最初は全体表示されますが、表示を拡大/縮小したり、スクロールできます。詳しくは「タッチパネルの操作」(P.32)をご参照ください。

◆ウェブページの操作は、ウェブサイトの形式や内容によって異なる場合があります。

◆FOMA端末に内蔵されたFlash Playerに対して最新版のアップデートプログラムがインストールされていないとウェブコンテンツを閲覧できない場合があります。Androidマーケット(P.115)に接続の上、Flash Playerの更新情報を確認してください。

ウェブページを表示する

ウェブページを表示するには、URLを指定する方法と、文字を入力または音声入力して検索する方法があります。

● ウェブページを表示する

1 ブラウザ画面の検索ボックスをタップする

http://www.dcm-gate.co...

2 ウェブページのURLを入力する

- 入力が完了する前でも、入力した文字に一致するウェブページの候補や検索候補がリスト表示されます。

3 リストのいずれかをタップするか、URLを最後まで入力して→

- 指定したURLのウェブページが表示されます。

おしらせ

◆ウェブページの表示を中止するには、×をタップするか、[…]→「停止」をタップします。
◆ブラウザ画面で[…]→「再読み込み」をタップすると、ウェブページの表示を更新できます。
◆ブラウザ画面で[…]→「その他」→「ページ情報」をタップすると、ウェブページの名前とアドレスを表示できます。
◆ブラウザ画面で[…]→「その他」→「ページを共有」をタップすると、ウェブページのURLをメールで送信したり、他のアプリケーションで利用できます。

● 文字を入力してウェブページを検索する

1 検索ボックスをタップする

2 検索する文字を入力する

- 入力が完了する前でも、入力した文字の検索語を含むウェブページがリスト表示されます。

3 リストのいずれかをタップするか、文字を最後まで入力して→

● 音声入力でウェブページを検索する

1 検索ボックスをタップする

2 [マイク]

- 「お話しください」と表示されます。

3 マイクに向かって検索語をはっきりと発声する

- 検索結果一覧が表示されます。検索候補の選択リストが表示された場合は、検索したい文字を選択してください。

4 リストのいずれかをタップする

おしらせ

◆正しく変換されない場合は、改めて[マイク]をタップして音声入力するか、文字を入力して検索してください。

● ウェブページをスクロールする

1 ブラウザ画面をスクロールする方向にドラッグする

- 表示しているウェブページによっては、上下左右にスクロールできる場合もあります。

● ウェブページの表示を拡大／縮小する

1 ブラウザ画面をドラッグする

- [ズームボタン]が表示されます。

2 [縮小]または[拡大]

おしらせ

◆操作時の表示が最小または最大の場合、[縮小]または[拡大]がグレー表示となり、利用できません。

● 特定の箇所を拡大／縮小する

1 拡大したい部分を2本の指で広げる

- 操作を開始した位置を中心に拡大表示されます。

2 縮小したい部分を2本の指で狭める

- 縮小表示されます。

おしらせ

◆ウェブページによっては、拡大／縮小できない場合があります。

● 特定の箇所をすばやく拡大／縮小する

1 ブラウザ画面の拡大する位置をダブルタップする

- ダブルタップした位置を中心に拡大表示されます。

2 ブラウザ画面を再びダブルタップする

- 全体表示に戻ります。

おしらせ

◆ウェブページによっては、拡大／縮小できない場合があります。

● リンク先のウェブページを開く

1 ウェブページに含まれるリンクをタップする

おしらせ

◆リンクをロングタッチすると、メニューが表示され「開く」「新しいウィンドウで開く」「リンクをブックマーク」「リンクを保存」「リンクを共有」「URLをコピー」のいずれかが選択できます。

◆「リンクを保存」をタップすると、リンク先のファイルをmicroSDカードの「download」フォルダに保存できます。「リンクを共有」をタップすると、ウェブページのアドレスをメールなどで送信することで情報が共有できます。

◆[←]を押すと、メニューを消去できます。

◆メールアドレスのリンクをタップすると、メールアプリケーションが表示され、リンクに設定されているメールアドレスにメールが送信できます。

◆電話番号のリンクをタップすると、「電話」アプリケーションが開き、リンクに設定されている電話番号あてに電話をかけられます。

◆住所のリンクをタップすると、「マップ」アプリケーションが表示され、リンクに設定されている住所の地図が表示されます。

● ウェブページを前後に移動する

1 ブラウザ画面で[←]

- 移動前のページに移動します。

2 ブラウザ画面で[…]→「進む」

- 次のページに移動します。

おしらせ

◆キーボードが表示されている状態で[←]を押すと、キーボードが非表示になります。

◆メニューが表示されている状態で[←]を押すと、メニューが非表示になります。

● ウェブページに含まれる文字を検索する

1 ブラウザ画面で[⋯]→「その他」→「ページ内検索」

2 文字を入力

- 入力した文字に一致する最初の単語がハイライト表示され、その後の一致する単語は四角で囲まれます。

3 [◀]または[▶]

- 前または次の一致する単語をハイライト表示します。

4 [×]

- 検索を終了します。

● ウェブページに含まれる文字をコピーする

1 ブラウザ画面で[⋯]→「その他」→「テキストを選択してコピー」

2 コピーする文字をドラッグし、◸を開始位置に、◹を終了位置にドラッグ→選択した文字をタップする

- 選択文字がクリップボードにコピーされます。

おしらせ

◆コピーした文字は、ブラウザの検索ボックスや、ウェブページに含まれるテキストボックス、Eメールなど他のアプリケーションに貼り付けることができます。貼り付けたいテキストボックスをロングタッチ→「貼り付け」と操作してください。

ファイルをダウンロードする

画像やウェブページなどをダウンロードできます。ダウンロードしたファイルは、microSD カードの「download」フォルダに保存されます。

● 画像などのファイルをダウンロードする

1 ウェブページに表示された画像や、ファイル、ウェブページへのリンクをロングタッチする

- メニューが表示されます。

2 「画像を保存」または「リンクを保存」

おしらせ

◆ダウンロード方法はウェブページによって異なる場合があります。ウェブページの指示に従ってファイルをダウンロードしてください。

◆ダウンロードを途中で中止するには、ブラウザ画面で[⋯]→「その他」→「ダウンロード一覧」をタップします。ダウンロード一覧がリスト表示されるので、ダウンロード中のリストをロングタッチしてください。メニューが表示されるので「ダウンロードをキャンセル」をタップします。

◆SSLで通信するウェブページや認証を必要とするウェブページに含まれるファイルはダウンロードできないことがあります。

● ダウンロードしたファイルを確認する

1 ブラウザ画面で[⋯]→「その他」→「ダウンロード一覧」

- ダウンロードしたファイルがリスト表示されます。

2 リストのいずれかをタップする

・ダウンロードファイルの情報が表示されます。

■リンク、画像などのダウンロード一覧を削除する場合

ダウンロード一覧画面で削除したいファイルのチェックボックスにチェックマークを付ける→「削除」

●ファイルおよびダウンロード一覧のリストを削除します。

ブックマークや履歴を活用する

ウェブページをブックマークすることで、そのウェブページにすばやくアクセスできます。また、過去に閲覧したウェブページの履歴を表示し、そのウェブページを再び表示できます。

● ブックマークする

1 ブックマークするウェブページを表示する

2 [⋯]→「ブックマーク」

・「ブックマーク」タブにブックマークのサムネイルが表示されます。

3 「★追加」

4 必要に応じて名前とURLを編集し、「OK」

・ウェブページで表示していた画面がブックマークリストにサムネイル表示されます。

おしらせ

◆ブラウザ画面で[ブックマークアイコン]をタップしても「ブックマーク」タブが表示されます。

◆「ブックマーク」タブ表示中に[⋯]→「最後に表示したページをブックマークする」をタップすることで、表示しているウェブページをブックマークできます。

◆「ブックマーク」タブを表示中に[⋯]→「リスト表示」をタップすると、リスト表示になります。また、[⋯]→「サムネイル表示」をタップすると、サムネイル表示に戻ります。

◆ブラウザ画面で[⋯]→「その他」→「ブックマークを追加」をタップしても表示中のウェブページをブックマークできます。

● ブックマークされたウェブページを表示する

1 ブラウザ画面で[⋯]→「ブックマーク」

2 表示するサムネイルまたはリストをタップする

おしらせ

◆「ブックマーク」タブのサムネイルまたはリストをロングタッチすると、メニューが表示され「開く」「新しいウィンドウで開く」「編集」「ショートカットを作成」「リンクを共有」「URLをコピー」「削除」「ホームページとして設定」のいずれかが選択できます。

◆「ショートカットを作成」をタップすると、該当ブックマークのショートカットがホーム画面に追加されます。

● よく使うウェブページを表示する

1 ブラウザ画面で[⋯]→「ブックマーク」

2 「よく使用」タブをタップする

・閲覧頻度が高い順にリスト表示されます。

3 リストのいずれかをタップする

おしらせ

◆「よく使用」タブでは、ブックマークされているウェブページ名の右に金色の星型アイコンが表示されます。このアイコンをタップすると、該当のウェブページが「ブックマーク」タブから削除されます。また、グレーの星型アイコンをタップすると、そのウェブページが「ブックマーク」タブに追加されます。

◆「よく使用」タブのリストをロングタッチすると、メニューが表示され「開く」「新しいウィンドウで開く」「ブックマークを追加」（または「ブックマークから削除」）「リンクを共有」「URLをコピー」「履歴から消去」「ホームページとして設定」が選択できます。

● 閲覧履歴を利用してウェブページを表示する

1 ブラウザ画面で[…]→「ブックマーク」

2 「履歴」タブをタップする

- 閲覧したウェブページの履歴が閲覧日ごとに分類されてリスト表示されます。閲覧した日のリストが表示されていない場合は、閲覧日または期間をタップすることで該当する閲覧履歴リストが表示されます。

3 リストのいずれかをタップする

おしらせ

◆ブラウザ画面で[←]を1秒以上押しても「履歴」タブを表示できます。

◆「履歴」タブでは、ブックマークされているウェブページ名の右に金色の星型アイコンが表示されます。このアイコンをタップすると、該当のウェブページが「ブックマーク」タブから削除されます。また、グレーの星型アイコンをタップすると、そのウェブページが「ブックマーク」タブに追加されます。

◆「履歴」タブのウェブページ名をロングタッチすると、メニューが表示され「開く」「新しいウィンドウで開く」「ブックマークを追加」（または「ブックマークから削除」）「リンクを共有」「URLをコピー」「履歴から消去」「ホームページとして設定」が選択できます。

◆「履歴」タブを表示中に[…]→「履歴消去」をタップすると、履歴リストがすべて消去されます。「よく使用」タブのリストも消去されます。

複数のウィンドウを利用する

最大8つのウェブページを同時に開き、切り替えて表示できます。

● 新しいウィンドウを表示する

1 ブラウザ画面で[…]→「新しいウィンドウ」

● ウィンドウを切り替える

1 ブラウザ画面で[…]→「ウィンドウ」

2 表示するウィンドウをタップする

おしらせ

◆ウィンドウのリストで「新しいウィンドウ」をタップすると、新しいウィンドウが開いて、ホームページが表示されます。

◆ウィンドウのリストの ⊠ をタップすると、該当のウィンドウが閉じます。

ブラウザの設定を変更する

1 ブラウザ画面で［…］→「その他」→「設定」

2 必要に応じて設定を変更する

ページコンテンツ設定	ウェブページを表示するときのテキストサイズやデフォルトの倍率、テキストエンコードの設定、ポップアップウィンドウを表示するかどうか、画像を読み込むかどうか、JavaScriptやプラグインを有効にするかどうか、ホームページの設定などを行います。
プライバシー設定	ブラウザのキャッシュ、閲覧履歴、Cookie、フォームデータ、位置情報へのアクセス許可を消去できます。Cookieを受け入れるか、フォームデータを保存するか、位置情報を有効にするかどうかの設定を行います。
セキュリティ設定	パスワードを保存するかどうか、セキュリティ警告を表示するかどうかを設定します。保存されているパスワードを消去することもできます。
詳細設定	ウェブサイトごとの設定や、ブラウザの設定を初期値に戻すことができます。

トーク

Googleトークは Googleのインスタントメッセージプログラムです。Googleアカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。Googleトークを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。詳しくは「オンラインサービスアカウントを設定する」(P.76) をご参照ください。

Googleトーク利用の準備

Googleトークを利用するには、ログインとメンバーの追加が必要です。ただし、すでにGoogleアカウントを設定している場合は、サインインなしでご利用になれます。

● Googleトークにログインする

1 ホーム画面で［▦］→「トーク」

- 設定しているGoogleアカウントが表示されます。

おしらせ

◆Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントを追加」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。

● 友だちを追加する

1 「トーク」画面で［…］→「友だちを追加」

- 「チャットに招待」画面が表示され、チャットへの招待状送信先入力が求められます。

2 招待相手のGoogle トークインスタントメッセージIDまたはGoogleアカウントを入力する

- 一部を入力すると、入力内容に一致するアカウントのリストが表示されます。その中に招待相手のアカウントがある場合、該当アカウントをタップすることで、送信先として指定できます。

3「招待状を送信」

- 招待相手に招待状が送信されます。

● 招待を承諾する

招待状を受け取ると「トーク」画面に「チャットへの招待」と表示されます。

1「トーク」画面で「チャットへの招待」→「承諾」

- 「キャンセル」をタップすると招待を拒否します。
- 「ブロック」をタップすると招待を拒否して、相手をブロックするユーザーのリストに追加します。

おしらせ

◆招待状を受信した相手が承認すると、返信待ちの招待状リストから該当する招待状が削除されます。

● オンラインステータスとメッセージを変更する

1「トーク」画面で自分のアカウントをタップする

2 [オンライン ▼]をタップする

3 いずれかのステータスをタップする

- ステータスが変更されます。

4「ステータスメッセージ」ボックスをタップ→ステータスメッセージを入力し「完了」

- [←] を押して、キーボードを消去すると、一度設定したことがあるカスタムステータスが表示されます。いずれかをタップすることで、カスタムステータスを変更することもできます。

おしらせ

◆FOMA 端末または他の環境の Google トークで設定しているステータスは、Gmail、Googleマップなど、他のアプリケーションのメンバーに表示されます。

◆ログインした状態でしばらく操作を行わないとステータスアイコンが時計マークの表示となる場合があります。操作を開始すると時計マークは表示されなくなります。

チャットする

1「トーク」画面でチャット相手のアカウントをタップする

2「メッセージを入力」ボックスをタップ→文字を入力して「送信」

- 文字ボックスに入力した内容が送信されます。

● チャット相手を追加する

1「トーク」画面でチャット相手のアカウントをタップする

- すでにチャットしていた相手とは別に、タップした相手とチャットできます。

● チャット相手を切り替える

1 チャット画面で[⋯]→「チャット相手の切替」

・友だちのアイコンが表示されます。

2 切り替える友だちのアイコンをタップする

・タップした友だちとのチャットに切り替えられます。

● 複数の友だちとチャットする

1 チャット画面で[⋯]→「グループチャット」

2 チャットに参加させる友だちのアイコンをタップする

・タップした友だちがチャットに参加できます。

チャットを終了する

● 特定の友だちとチャットを終了する

1 「トーク」画面でチャット中の友だちをロングタッチする

・メニューが表示されます。

2 「チャット終了」

おしらせ

◆チャット画面で[⋯]→「チャット終了」をタップして終了することもできます。

● すべての友だちとチャットを終了する

1 「トーク」画面で[⋯]→「その他」

2 「すべてのチャットを閉じる」

おしらせ

◆ログアウトして、すべての友だちとのチャットを終了することもできます。詳しくは「ログアウトする」（P.100）をご参照ください。

ログアウトする

1 「トーク」画面で[⋯]→「ログアウト」

・アプリケーション一覧画面が表示されます。

Google トークの設定を変更する

1 「トーク」画面で[⋯]→「設定」

・「設定」画面が表示されます。

2 必要に応じて設定を変更する

・Google トークに自動的にログインするかどうか、チャットメンバーの種別表示、検索履歴の消去、通知アイコンの表示、着信音／バイブレーションなどの設定を行うことができます。

マルチメディア

カメラ

カメラをご利用になる前に

- 本 FOMA 端末で撮影した静止画または動画は、すべてmicroSDカードに保存されます。microSDカードは、お買い上げ時にFOMA端末に取り付けられています。取り外した場合は、撮影ができません。
- 電池残量が少ないとき、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。

● 撮影するときのご注意

- カメラは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていた後は、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色するなど、故障の原因となります。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したら速やかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音、動画撮影の開始音／終了音は鳴ります。また、音量を変更することや消去することはできません。
- 手ブレ補正設定を「OFF」に設定している場合、撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく手ブレ補正設定を「オート」に設定して撮影することをおすすめします。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- 静止画を連続撮影したり、動画を長時間撮影したり、長時間カメラを起動するとFOMA端末が温かくなり、カメラを終了することがありますが、異常ではありません。しばらくたってからカメラをご利用ください。
- 動画撮影中に通知音が鳴ると、通知音が録音される場合があります。

著作権・肖像権について
FOMA端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

● カメラの撮影サイズとズーム倍率

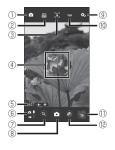
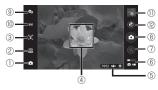
設定できる撮影サイズとズームできる倍率は以下のとおりです。

	撮影サイズ	最大倍率（ズームの段階）
静止画撮影	5M：2560×1920	等倍（－）
	WQHD：2560×1440	等倍（－）
	2M：1600×1200	約1.6倍（16段階）
	1M：1280×960	等倍（－）
	VGA：640×480	約4.0倍（16段階）

	撮影サイズ	最大倍率（ズームの段階）
動画撮影	HD：1280×720	等倍（－）
	VGA：640×480	約2.0倍（16段階）
	QVGA：320×240	約4.0倍（16段階）
	QCIF：176×144	約6.7倍（16段階）
	YouTube 1280×720	等倍（－）

● 撮影画面の見かた

本FOMA端末には、カメラが内蔵されており、静止画や動画が撮影できます。静止画は、縦向きと横向きのどちらでも撮影できます。

■静止画撮影画面

① 撮影モード
② シーン
③ オートフォーカス
　接写や顔検出などの設定を行うことができます。
④ フォーカス枠
⑤ 撮影可能枚数・手ブレ補正・位置情報取得状態
⑥ 静止画／動画の切り替え
⑦ ズーム
　インジケータをドラッグして、撮影する画像の大きさを調整します。
⑧ シャッター
⑨ その他の設定
　ライト、画質、手ブレ補正、セルフタイマーなどの設定を行うことができます。
⑩ サイズ
⑪ ギャラリー
　撮影した静止画を見ることができます。
⑫ 明るさ
　インジケータをドラッグして、撮影する画像の明るさを調整します。

■**動画撮影画面**

●撮影前

●撮影中

① その他の設定
　ライト、画質、手ブレ補正などの設定を行うことができます。
② サイズ
③ オートフォーカス
④ ギャラリー
　撮影した動画を見ることができます。
⑤ 明るさ
　インジケータをドラッグして、撮影する画像の明るさを調整します。
⑥ 録画開始／終了
⑦ ズーム
　インジケータをドラッグして、撮影する画像の大きさを調整します。
⑧ 静止画／動画の切り替え
⑨ 撮影可能時間・手ブレ補正
⑩ 撮影経過時間
　撮影可能時間が残り1分になると赤文字表示となり、カウントダウンを行います。

おしらせ

◆条件によっては設定を変更できない場合があります。

● 撮影設定メニュー

カメラ／ビデオカメラではアイコンをタップすることでさまざまな撮影条件を設定することができます。
<例：カメラで撮影モードを変更する場合>

1 ホーム画面で▦→「カメラ」

2 静止画撮影画面（P.102）の［●］（撮影モード）をタップする

標準…標準の撮影モードです。

クイックショット…短い時間で素早く撮影できます。よりきれいに撮影したい場合は、撮影モードを「標準」にしてください。

連写…撮影間隔を設定し、5枚から最大100枚の連続撮影をします。

高感度…暗い場所での被写体のブレを最小限に抑えて撮影します。

タッチ撮影…タップした位置にピントを合わせ簡単に撮影できます。

カメラで撮影する

撮影した静止画と動画は、自動的にmicroSDカードに保存されます。
microSDカードが挿入されていない場合は、撮影ができません。

● 静止画を撮影する

1 ホーム画面で▦→「カメラ」

2 カメラを被写体に向ける

3 ◉をタップする

- シャッター音が鳴ります。

● 動画を撮影する

1 ホーム画面で▦→「ビデオカメラ」

2 カメラを被写体に向け、●をタップする

- 録画開始音が鳴ります。

3 ■をタップして録画を終了する

- 録画終了音が鳴ります。

ギャラリー

ギャラリーはカメラで撮影したもの以外に、デジタル著作権管理技術（DRM）で保護された静止画や動画の閲覧や再生に対応したアプリケーションです。
静止画と動画をスライドショーで表示したり、編集することもできます。

おしらせ

◆DRMで保護されたコンテンツは他の端末と「共有」することはできません。
◆DRMで保護されたコンテンツは端末初期化すると再生できなくなります。
◆保存している静止画や動画が多い場合にギャラリーが予期せず停止することがあります。
◆保存されている写真の枚数が多い場合、ギャラリー起動時にすべての写真を読み込むのに時間がかかることがあります。
◆「スライドショー」をタップすると、保存されている静止画や動画のサムネイルがスライドショーとして順に表示されます。
◆[…]を押すと、静止画や動画の共有や削除、その他の操作ができます。
◆[…]→「共有」をタップすると、Bluetooth機能やGmailなどが利用できます。
◆[…]→「その他」をタップすると、詳細情報の確認や、静止画は登録、トリミング、回転ができます。
◆動画の一覧を表示中に[…]→[…]→動画をタップして選択→「削除」→「削除実行」をタップすると、動画を削除できます。

● 静止画を見る

1 ホーム画面で[アプリ]→「ギャラリー」

- ギャラリー画面が表示されます。ギャラリーでは、カメラにより撮影されたものと、ダウンロードされたものがまとめて表示されます。

2 「すべての静止画」をタップする

- 保存されている静止画がサムネイルで表示されます。
- [切替]をタップすると、撮影日ごとの表示に切り替わります。

3 いずれかの静止画をタップする

- [縮小][拡大]をタップするか、画像を2本の指で広げたり狭めたりすることで拡大／縮小することができます。

● 動画を見る

動画を再生できるファイルは以下の通りです。

●H.263(3gp,mp4)、H.264(3gp,mp4)、MPEG-4 SP(3gp)、WMV(wmv,asf)

1 ホーム画面で[アプリ]→「ギャラリー」→「すべての動画」

- 保存されている動画がサムネイルで表示されます。

2 いずれかの動画をタップする

- 動画が再生されます。
- 再生中に画面をタップすると、キーや再生バーが表示され、一時停止や頭出しなどができます。

ミュージックプレーヤー

音楽について

ミュージックプレーヤーを使用して、microSDカードに保存された音楽ファイルを再生します。また、DRM技術に対応し、著作権保護された音楽ファイルも再生できます。

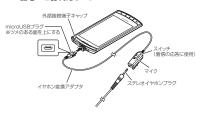
- ミュージックプレーヤーは以下のファイル形式の音楽に対応しています。
  AAC LC/LTP、HE-AACv1 (AAC+)、HE-AACv2 (enhanced AAC+)(3gp,mp4,m4a)、AMR-NB、AMR-WB(3gp)、MP3(mp3)、MIDI(mid,xmf,mxmf,imy,rtttl,rtx,ota)、Ogg Vorbis(ogg)、PCM/WAVE(wav)、WMA(wma,asf)
- 音楽を利用するには、お持ちのオーディオファイルをmicroSDカードにコピーする必要があります。オーディオファイルをmicroSDカードにコピーする方法については「USB マスストレージ設定」(P.114)をご参照ください。

おしらせ

◆DRMで保護されたコンテンツは端末初期化すると再生できなくなります。

● イヤホンをご利用になる場合

1 イヤホン変換アダプタ(試供品)のスイッチ側の端子にステレオイヤホンプラグを差し込む

2 FOMA端末の外部接続端子にイヤホン変換アダプタのmicroUSB側端子を接続する

ミュージックライブラリ画面を表示する

1 ホーム画面で→「音楽」

- ミュージックライブラリ画面が表示されます。ミュージックライブラリ画面は、「アーティスト」「アルバム」「曲」「プレイリスト」の4つのタブがあり、それぞれのタブをタップすることで、再生する曲が検索できます。横画面表示の場合は、「再生中」タブも表示されます。

アーティスト名が一覧表示されます。いずれかをタップすると、選択可能なアルバムまたは音楽が一覧表示されます。

アルバム名が一覧表示されます。いずれかをタップすると、選択可能な曲が一覧表示されます。

プレイリストとして登録された曲名が一覧表示されます。

曲名が一覧表示されます。

アーティスト名

アルバム名

再生中の曲が表示されます。

曲を検索する

曲を検索するには、アーティスト名／アルバム名／曲名で行う方法と、文字を入力して検索する方法があります。文字を入力して検索すると入力した文字列と一致したものが一覧で表示されます。

● アーティスト名／アルバム名／曲名／プレイリストで検索する

1 「アーティスト」「アルバム」「曲」「プレイリスト」のいずれかのタブをタップする

- タップしたカテゴリーに応じた結果が表示されます。

2 リストアップされた項目のいずれかをタップする

- アーティスト名により検索した場合には、アーティスト名→アルバム名をタップすることで曲名が表示されます。アルバム名で検索した場合には、アルバム名をタップすることで曲名が表示されます。

● 文字を入力して検索する

1 「アーティスト」「アルバム」「曲」「プレイリスト」のいずれかのタブをタップする

2 [⋯]を1秒以上押す

- 文字入力画面が表示されます。

3 検索する文字を入力→「確定」

- 入力した文字列が含まれている曲が一覧で表示されます。

音楽を再生する

● トラック順に音楽を再生する

1 再生する曲を検索する

2 曲名をタップする

- 再生画面が表示され、タップした曲が再生されます。

① ジャケット画像
② 現在再生中のプレイリストを表示
③ アーティスト名／アルバム名／曲名
ロングタッチすると各アプリケーションから関連情報を検索することができます。
④ 再生中の曲の先頭から再生を始めます。ダブルタップすると、前の曲の先頭から再生を始めます。ロングタッチすると、再生中の曲を巻き戻します。
⑤ 再生時間
⑥ ドラッグまたはタップすると、再生中の曲を任意の場所から再生します。
⑦ シャッフルのオン／オフを切り替えます。
⑧ 全曲リピート／1曲リピート／リピートオフを切り替えます。
⑨ 次の曲の先頭から再生を始めます。ロングタッチすると、再生中の曲を早送りします。

⑩ 総再生時間
⑪ 一時停止／再生

● ランダムに音楽を再生する

1 再生する曲を検索する

2 曲名をタップする

• 再生画面が表示され、タップした曲が再生されます。

3 [シャッフル] をタップする

• 再生している曲を含むアルバムの曲をランダムに再生します。

おしらせ

◆ミュージックライブラリに含まれるすべての曲からランダムに数曲選んで再生するには、再生画面で[…]→「パーティシャッフル」をタップします。パーティシャッフルでは、シャッフルした曲の順番を再生画面の[≡]で確認したり、曲名を上下にドラッグして曲を入れ替えたりすることができます。パーティシャッフルを解除するには、[…]→「パーティシャッフルOFF」をタップします。
解除後、プレイリストはパーティシャッフルをOFFにしたときの状態のままとなります。
プレイリストを消去するには、[…]→「プレイリストを消去」をタップします。

プレイリストを利用する

● プレイリストを作成する

1 ミュージックライブラリ画面で、アーティスト／アルバム／曲を検索する

2 追加したいアーティスト名、アルバム名、曲名をロングタッチする

• メニューが表示されます。

3 「プレイリストに追加」をタップする

• アーティスト名／アルバム名の場合は、選択した項目内にあるすべての曲がプレイリストに追加されます。

4 追加したいプレイリストの項目をタップする

•「現在のプレイリスト」をタップした場合、現在再生中の曲の一覧に追加できます。追加した曲は再生画面の[≡]をタップして確認できます。「新規」をタップすると、新たにプレイリスト名を指定して、そのプレイリストに追加できます。

おしらせ

◆プレイリストは複数作成することができます。

● プレイリストを表示する／音楽を再生する

1 「プレイリスト」タブをタップする

- プレイリストが表示されます。

2 いずれかのプレイリストをタップする

- プレイリストに含まれる曲が表示されます。

3 再生したい曲をタップする

- タップした曲が再生されます。

おしらせ

◆プレイリスト名をロングタッチすると、メニューが表示されます。
「再生」をタップすると、プレイリストに含まれる曲を順番に再生できます。

プレイリストを管理する

作成したプレイリストは、後からプレイリスト名や再生順を変更することができます。また、プレイリストに含まれる曲を着信音に設定することもできます。

● プレイリスト名を変更する

1 「プレイリスト」タブでプレイリスト名をロングタッチする

- メニューが表示されます。

2 「名前を変更」

- プレイリスト名を入力するメニューが表示されます。

3 プレイリスト名を入力→「保存」

- 「プレイリスト」タブに変更後の名前が表示されます。

おしらせ

◆「最近追加したアイテム」については、削除および名前の変更はできません。

● プレイリストの再生順を変更する

1 プレイリストを開く

2 再生順を変更する曲の左にある▦をドラッグする

- 該当の曲がドラッグ位置に変更され、再生順も変更されます。

● プレイリストの曲を着信音にする

1 プレイリストを開く

2 着信音にしたい曲をロングタッチする→「着信音に設定」

- 該当の曲が着信音として設定されます。着信音について詳しくは「音」（P.71）をご参照ください。

● プレイリストから曲を削除する

1 「プレイリスト」タブで、削除したい曲が含まれるプレイリストをタップする

- 該当のプレイリストに含まれる曲が表示されます。

2 削除したい曲をロングタッチする

- メニューが表示されます。

3 「プレイリストから削除」

● プレイリストを削除する

1「プレイリスト」タブで、削除したいプレイリストをロングタッチする

- メニューが表示されます。

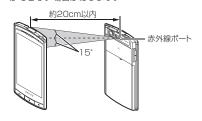
2「削除」

ファイル管理

赤外線通信

赤外線通信を利用する

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、連絡先を送受信することができます。

- 連絡先、マイプロフィールのデータを送受信できます。
- 赤外線の通信距離は約 20cm 以内でご利用ください。また、連絡先の送受信が完了するまで、赤外線ポートを向き合わせたまま動かさないでください。
- 赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合があります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 相手側のFOMA 端末によっては、連絡先の送受信ができない場合があります。

赤外線通信で連絡先を送信する

1 ホーム画面で▦→「連絡先」→送信する連絡先を選択

2 [⋯]→「共有」→「OK」

- 受信側のFOMA端末を受信待ち状態にします。

3 「赤外線」→「OK」→「OK」

- 赤外線ポートを通信先に向けます。

赤外線通信で連絡先を受信する

1 連絡先画面で[⋯]→「その他」→「赤外線受信」→「OK」

- 複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。

■ 1件受信する場合

→「OK」→「OK」

■ 全件受信する場合

→4桁の認証パスワードを入力→「次へ」または「OK」→「OK」→「OK」

おしらせ

◆全件受信した場合、受信したデータは連絡先に追加して保存されます。

◆データの種類によっては、全件受信できない場合があります。

Bluetooth通信

FOMA端末とBluetoothデバイスをワイヤレスで接続し、データをやり取りできます。

- 設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書もご覧ください。
- 本FOMA端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■Bluetooth機能使用時のご注意

1. 本FOMA端末と他のBluetoothデバイスとは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■無線LAN対応機器との電波干渉について

本FOMA端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因となる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■Bluetooth機能のパスコードについて

Bluetooth機能のパスコードは、接続するBluetoothデバイスどうしがはじめて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスコード（最大16文字の半角英数字）を入力する必要があります。

- 本FOMA端末ではパスコードを「PIN」と表示している場合があります。

Bluetooth機能をONにしてFOMA端末を検出可能にする

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「無線とネットワーク」→「Bluetooth設定」

2 「Bluetooth」にチェックマークを付ける

3 「検出可能」にチェックマークを付ける

- FOMA端末が別のBluetoothデバイスから約120秒間検出可能になります。

■ FOMA端末に名前をつける場合

「端末名」→端末名を入力→「OK」

4 Bluetooth 通信のペアリングを要求する画面が表示された場合は、「ペア設定する」をタップまたは、必要に応じてパスコード（PIN）を入力→「OK」

おしらせ

◆Bluetooth機能を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。

◆Bluetooth機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。

他のBluetoothデバイスとペアリング／接続する

1 Bluetooth設定画面で「デバイスのスキャン」

- 検出されたBluetoothデバイスが一覧表示されます。

2 接続したいデバイスをタップする

3 ペアリングのためのパスコード（PIN）を入力→「OK」

ペアリングを解除する

1 Bluetoothデバイスの一覧表示で、ペアリングを解除したいデバイスをロングタッチ→「ペアを解除」

Bluetooth機能でデータを送受信する

- ●Bluetooth 機能搭載機器とデータの送受信を行う場合、プロファイルが異なると送受信できない場合があります。

● Bluetooth機能でデータを送信する

連絡先（vcf形式の名刺データ）、静止画、動画などのファイルを、他のBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。

- ●あらかじめ本FOMA端末のBluetooth機能をONにしてください。
- ●送信は各アプリケーションの「共有」／「送信」などのメニューから行ってください。

● Bluetooth機能でデータを受信する

あらかじめペアリングを行ってください。

1 ステータスバーにが表示されたら、下方向にスクロールして「Bluetooth共有：ファイル着信」→「承諾」

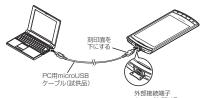
ステータスバーにが表示され、データの受信が開始されます。
通知パネルで受信状態を確認できます。受信が完了したら「Bluetooth共有：受信したファイル」をタップすると受信したデータを表示／再生できます。

外部機器接続

PC接続用microUSBケーブルで接続する

FOMA端末とパソコンをPC接続用microUSBケーブル（試供品）で接続すると、FOMA端末のmicroSDカードをマスストレージとして認識させてデータをやり取りすることができます。

1 FOMA端末の外部接続端子キャップを開き、PC接続用microUSBケーブルのFOMA端末側コネクタを差し込む

2 パソコンにPC接続用microUSBケーブルのパソコン側コネクタを差し込む

おしらせ

◆PC接続用microUSBケーブルのUSBプラグはパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
◆データ転送中にPC接続用microUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
◆PC接続用microUSBケーブルをパソコンから取り外すときは、USBプラグを水平に引き抜いてください。

USBマスストレージ設定

パソコンとFOMA端末をPC接続用microUSBケーブル（試供品）でつないだとき、パソコン上でFOMA端末およびmicroSDカードのデータを読み書きできるようにします。

● USBストレージをONにする

1 本FOMA端末とパソコンを付属のPC接続用microUSBケーブルで接続する

2 通知パネルを開き、「USB接続」→「カードリーダーモード」→「OK」

- 使用中のアプリケーションを停止するお知らせの画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

3 パソコンを操作してFOMA端末にデータを転送する

おしらせ

◆microSDカードにアクセス中は電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。
◆USBストレージをONにしてパソコンとUSB接続しているときは、FOMA端末からmicroSDカードにアクセスできません。

● microSDカードをパソコンから切断する

1 パソコン側で、リムーバブルディスクの安全停止または取り外し操作を行う

- 例えば、Windows® 7／Windows Vista®／Windows® XPでは、「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を行います。

2 本FOMA端末側の通知パネルを開き、「USBストレージをOFFにする」をタップする

3「カードリーダーモードを停止しますか？」→「OK」

- microSDカードがパソコンから切断され、「USB接続」が表示されます。

アプリケーション

Androidマーケット

Androidマーケットを開く

1 ホーム画面で▦→「マーケット」

- サービス規約が表示されます。これは、はじめてAndroidマーケットを開く場合のみ表示されます。

2 「同意する」

- Androidマーケットが開きます。

おしらせ

◆アプリケーションのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実行してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
◆万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
◆お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
◆アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。パケット通信を切断するには、ホーム画面で[…]→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」をタップし、「データ通信を有効にする」のチェックマークを外します。
◆Androidマーケットについての情報が必要な場合には、Androidマーケットを開いた状態で[…]→「ヘルプ」をタップします。

アプリケーションを検索する／インストールする

1 「マーケット」画面で目的のアプリケーションを検索する

- 「マーケット」画面で🔍をタップすると、アプリケーションの名前などでアプリケーションを検索できます。
- 「マーケット」画面で「アプリケーション」をタップすると、カテゴリーの一覧が表示され、カテゴリーからアプリケーションを探すことができます。

2 アプリケーション名をタップする

- アプリケーションの機能やスクリーンショット、デベロッパー（開発者）の情報、すでに利用しているユーザーの感想や評価が表示されます。また、[…]→「セキュリティ」をタップすると、このアプリケーションがアクセスする機能やデータの情報が表示されます。

3 インストール操作を続けるには「無料」（無料アプリケーションの場合）または金額表示欄（有料アプリケーションの場合）をタップする

- アプリケーションがFOMA端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するのか表示されます。
- 内容をよくご確認ください。アプリケーションをインストールすると、そのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには、特にご注意ください。
- 有料アプリケーションの場合には、購入が必要です。購入方法について詳しくは「アプリケーションを購入する」(P.117)をご参照ください。

4「OK」

- ダウンロードされ、自動的にインストールされます。インストールが完了すると、ステータスバーの通知領域にコンテンツダウンロードアイコンが表示されます。

おしらせ

◆ダウンロードに長い時間を要する場合、ステータスバーをドラッグして通知パネルを表示することで、進捗状況が確認できます。
◆アプリケーションの多くは数秒でインストールが終了しますが、長い時間ダウンロードが終了しない場合には、通知パネルを開いてアプリケーションをタップし、「キャンセル」をタップすることで、ダウンロードを中止できます。
◆ダウンロードおよびインストールが正常に終了すると、通知パネルにメッセージが表示されます。ステータスバーを下にドラッグし、インストールの終了メッセージをタップしてください。インストールされたアプリケーションが開きます。

アプリケーションを更新する

インストールしたアプリケーションが更新された場合、通知パネルに表示されます。また、「マイアプリ」画面で更新されたことが確認できます。いずれの場合でも更新されたことを確認した場合、更新操作が行えます。

1 通知パネルを表示する

- アプリケーションの更新通知が表示されます。

2 更新通知をタップする

- 「マイアプリ」画面が表示されます。

3 更新されているアプリケーションをタップする

- インストールと同様の手順でアプリケーションが更新できます。

おしらせ

◆「マーケット」画面で「マイアプリ」をタップすると「マイアプリ」画面が表示されます。更新されたアプリケーションには「更新」と表示されます。アプリケーションをタップすることで、インストールと同様の手順で更新することができます。

アプリケーションをアンインストールする

インストールしたアプリケーションは、任意にアンインストールできます。

1「マイアプリ」画面で、いずれかのアプリケーションをタップする

- アプリケーションの情報が表示されます。

2 「アンインストール」

- メッセージが表示されます。

3 「OK」

- アプリケーションを削除する理由が尋ねられます。

4 いずれかをタップして「OK」

- 再び「マイアプリ」画面が表示されます。ここで削除したアプリケーションをタップすると、再びインストールできます。

アプリケーションを購入する

有料アプリケーションの場合は、ダウンロードする前に購入してください。規定の時間、試用することができます。購入後、規定の時間以内に返金を請求しない場合は、そのままクレジットカードにより料金が支払われます。

おしらせ

◆アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後、アンインストールしたり再びダウンロードする場合、その都度料金を支払う必要はありません。

● アプリケーションの購入

1 「マーケット」画面で購入するアプリケーションをタップする

- アプリケーションの機能やすでに利用しているユーザーの感想や評価が表示されます。

2 金額表示欄をタップする

- アプリケーションがFOMA端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するか表示されます。
- 内容をよくご確認ください。アプリケーションをインストールすると、そのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには、特にご注意ください。

3 「OK」

4 「支払方法を選択」→支払方法を選択する→「OK」

- 「NTT DOCOMO利用料金と一緒に支払い」、登録済みのクレジットカード番号、「クレジットカードを追加」からご利用になる支払方法を選択し、それぞれ表示される画面にしたがって内容を確認、操作してください。
- spモードをご利用のお客様は、FOMA端末の毎月のご利用料金と一緒に支払いを行うこともできます（コンテンツ決済サービス）。詳細はドコモのホームページをご覧ください。
- 初回購入時には、「Google Checkout」ページが表示されます。
  これは、FOMA端末からアプリケーションを購入するための高速、安全、便利な購入手段です。Google Checkoutについて詳しくは、「 http://checkout.google.com/ 」をご参照ください。
- Google　CheckoutはGoogleのサービスです。
- FOMA端末にはGoogle Checkoutパスワードが記録されるため、画面ロックを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。詳しくは、「現在地情報とセキュリティ」（P.73）をご参照ください。

5 「払い戻しポリシー」リンク、「Googleの請求とプライバシーポ

リシー」リンクをタップし、読み終えたら[←]を押す

6 「今すぐ購入：(金額表示)」

- アプリケーションのダウンロードとインストールが行われ、Androidマーケットのホームページに戻ります。

おしらせ

◆アプリケーションに満足できない場合、購入後、規定の時間以内であれば返金を要求できます。アプリケーションは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリケーション購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、マーケット画面で[…]→「ヘルプ」で「アプリケーションの購入」の各項目をご覧ください。

● 返金とアプリケーションの削除

1 「マーケット」画面で「マイアプリ」

- 「マイアプリ」画面が表示されます。

2 アンインストールするアプリケーションをタップする

- 「アンインストールと払い戻し」画面が表示されます。

3 「アンインストール」

- アプリケーションを削除する理由を質問するメニューが表示されます。なお、メニューが表示されない場合、試用期間が終了しています。

4 いずれかの理由をタップして「OK」

ドコモマーケット

ドコモマーケットでは、ドコモのお勧めするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

ドコモマーケットを利用する

1 ホーム画面で[▦]→「ドコモマーケット」

- ブラウザが開き、「ドコモマーケット」が表示されます。

おしらせ

◆ドコモマーケットのご利用には、パケット通信(3G／GPRS)もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。

◆ドコモマーケットへの接続およびドコモマーケットで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。

◆ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。

◆ドコモマーケットで紹介しているサイト、または、そこから取得された情報によって生じたいかなる損害についても、ドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションの動作内容、使用目的への適合性、信頼性に関してドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆お客様がインストールを行うアプリケーションによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などが、インターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作の状況について十分にご確認の上ご利用ください。
◆本サイト上に掲載されている著作物（文書・写真・イラスト・動画・音声・ソフトウェアなど）の著作権は、ドコモまたは第三者が保有しており、著作権法その他の法律ならびに条約により保護されております。私的使用目的の複製、引用など著作権法上認められている範囲を除き、著作権者の許諾なしに、これらの著作物を複製、翻案、公衆送信などすることはできません。

GPS／ナビ

位置情報サービスについて

現在地の測位には、次の2つの方法があります。

- ●モバイルネットワークとWi-Fi
- ●GPS

Wi-Fiでは、高速で現在地の測位ができますが、正確さに欠けることがあります。GPSを使用すると、多少時間を要することはありますが、正確な測位ができます。現在地を測位する場合には、Wi-FiとGPSの両方を有効にすることで、双方の長所を活かすことができます。

GPS機能

本FOMA端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることをご確認ください。数分経っても現在地が測位できない場合は、場所を移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナを覆わないようにしてください。GPS機能をはじめて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度要することがあります。

おしらせ

◆GPSシステムの異常などにより損害が生じた場合でも、弊社では一切の責任を負いかねます。
◆本FOMA端末の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）により測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。
◆本FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、弊社は一切の責任を負いかねます。
◆高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、弊社は一切の責任を負いかねます。
◆GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下

- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの車内
- 大雨、雪などの悪天候
- 携帯電話の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 携帯電話のGPSアンテナ部周辺を手で覆い隠すように持っている場合。

◆GPSは、米国国防総省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、精度や機能に影響する可能性があります。
◆ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
◆各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

● GPS機能を有効にする

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「現在地情報とセキュリティ」

2 「GPS機能を使用」にチェックマークを付ける

● Wi-Fiによる現在地検索を有効にする

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「現在地情報とセキュリティ」

2 「無線ネットワークを使用」にチェックマークを付ける

- 「位置情報についての同意」メニューが表示されます。

3 「同意する」

- Wi-Fiを使用するアプリケーションで位置検索が使用できます。

おしらせ

◆Wi-Fiを利用した位置情報は個人を特定しない形で収集されます。なお、アプリケーションが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。

地図を利用する

「マップ」では、現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索ができます。Googleマップを開くと、近くの基地局からの情報により、おおよその現在地が表示されます。GPSで現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

おしらせ

◆現在地を取得する前にGPS機能を有効にしてください。
◆Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態（3G／GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
◆Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

マップを開く

1 ホーム画面で［⊞］→「マップ」

地図を拡大／縮小する

1 マップ画面で［⊕］をタップする

- 地図が拡大表示されます。
- 拡大したい部分を2本の指で広げたり、ダブルタップしても拡大表示されます。

2 マップ画面で［⊖］をタップする

- 地図が縮小表示されます。

• 縮小したい部分を2本の指で狭めたり、2本の指でタップしても縮小表示されます。

現在地を特定する

1 マップ画面で をタップする

• 現在地が地図上に青い矢印の点滅で表示されます。

ストリートビューを見る

ストリートビューに表示を切り替えることができます。

1 マップ画面でストリートビューを表示したい部分をロングタッチする

• ふきだしが表示されます。

2 ふきだしをタップ→ をタップする

• ストリートビューが表示されます。

おしらせ

◆ストリートビューは対応していない地域もあります。非対応地域の場合、 はグレー表示となります。

◆「ストリートビュー」画面をドラッグすると、表示する方角を変更できます。2本の指で広げたり狭めたりすると、表示を拡大／縮小することができます。 をドラッグすると、表示する場所を移動できます。

◆ストリートビューを表示している状態で、 →「コンパスモード」をタップすると、本FOMA端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。

特定の場所を検索する

1 マップ画面で「地図を検索」ボックスをタップし、検索する場所を入力する

• 検索文字として住所の他に、地名、施設名（例：東京　美術館）を指定できます。
• 「地図を検索」ボックスをタップすると、以前に検索または参照したすべての場所のリストが表示されます。リストをタップし、その位置を表示することもできます。

2 または「実行」をタップする

• 該当する場所が地図上にアイコン表示されます。
• 検索結果が複数ある場合は をタップして、検索結果のリストを表示することもできます。

3 場所のアイコンをタップする

• ふきだしに地名や施設名が表示されます。

4 ふきだしをタップする

詳細情報が表示されます。

：マップ画面に戻ります。

：表示している場所へのナビを開始したり経路を検索できます。

：表示されている電話番号に電話をかけることができます。

：ストリートビューを表示できます。

表示される情報や利用できるオプションは、場所により異なります。

おしらせ

◆音声入力により検索することもできます。詳しくは「検索する」（P.39）をご参照ください。

プレイスを利用する

現在地の情報から、近くのお店や施設を検索し情報を表示することができます。検索したお店などはGoogleマップの画面に表示することができます。

1 マップ画面で をタップする

- プレイスが開きます。

2 検索したい施設などをタップする

- 検索結果の一覧が表示されます。検索結果をタップすると、詳細な情報が表示されます。

おしらせ

◆「追加」→検索する文字を入力→「追加」をタップすると、検索条件を追加できます。

レイヤを変更する

地図上に複数の情報を重ねて表示できます。

● レイヤを追加する

1 マップ画面で をタップする

- 「レイヤ」メニューが表示されます。

2 表示したいレイヤをタップする

おしらせ

◆一部のレイヤは提供地域が限定されています。
◆「地図をクリア」をタップすると、表示されたレイヤや経路検索結果などをすべてクリアします。

● レイヤを削除する

1 マップ画面で をタップする

- 「レイヤ」メニューが表示されます。

2 チェックマークが付いているレイヤをタップする

- チェックマークが外れ、レイヤが削除されます。

経路を調べる

目的地への詳しい経路を表示できます。

1 マップ画面で →「経路」

2 「出発地」ボックスに出発地を入力→「到着地」ボックスに目的地を入力する

- それぞれのボックスの右にある をタップするとメニューが表示され、「現在地」「連絡先」「地図上の場所」から出発地、目的地を選択することもできます。

3 移動の方法として のいずれかをタップする

4 「実行」

- 目的地への経路がリスト表示されます。

5 複数の経路が表示された場合は、いずれかの経路をタップする

- 選択した経路が表示されます。

おしらせ

◆ をタップすると、経路が地図で表示されます。
◆所要時間の目安の下に表示される項目をタップすると、乗換や方向転換などの経路上のポイントが地図で表示されます。
◆地図表示上で をタップすると、経路の表示に戻ります。

◆「より早い時刻」または「より遅い時刻」をタップすることで前後の時間の経路が検索できます。
◆移動方法として公共交通機関を選んで調べた場合、[…]→「経路の設定」をタップすると「時刻」「料金」「乗換回数」を優先順に並べ替えたり、有料特急や空路の利用が設定できます。
◆自動車や徒歩で経路検索した場合は、経路が表示されます。
◆「現在地情報とセキュリティ」の「GPS機能を使用」を「ON」に設定していると、あらかじめ「出発地」ボックスに「現在地」が設定されます。

地図をクリアする

表示されたレイヤや経路検索結果などをすべてクリアします。

1 マップ画面でをタップする

• 「レイヤ」メニューが表示されます。

2 「地図をクリア」

• 表示されたレイヤや経路検索結果がクリアされます。

おしらせ

◆クリアする内容がない場合、「地図をクリア」はグレー表示となり、タップできません。
◆マップ画面でをタップし、チェックマークが付いているレイヤをタップしてチェックマークを外すことで、特定のレイヤだけをクリアすることもできます。

Latitudeを利用する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。

また、メッセージ（SMS）やメールを送ったり、電話をかけたり、友人の現在地への経路が検索できます。

●位置情報は自動的に共有されません。Latitude に参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。
●Latitude の詳細については、以下の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
マップ画面で [　] →「その他」→「ヘルプ」→「Latitude」

1 マップ画面で[…]→「Latitudeに参加」

ナビを利用する

Googleマップナビ（ベータ版）は、音声ガイダンス付きの経路案内ソフトです。

1 ホーム画面で→「ナビ」

• はじめてアプリケーションを起動した場合は、Googleマップナビの説明が表示されますので、「同意する」をタップしてください。

2 いずれかの項目をタップする

目的地を入力または選択すると、経路案内が開始されます。
「目的地を音声入力」：声で目的地を検索
「目的地を入力」：目的地を文字で入力
「連絡先」：連絡先に登録されている住所を検索
「スター付きの場所」：Googleマップでスターを付けた場所を検索
：経路オプション（高速道路や有料道路を使うかどうかを設定）
「地図表示」：マップを表示

おしらせ

◆運転中の操作は同乗者が行ってください。

ワンセグ

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記のホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
- 「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

ワンセグアンテナについて

ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。

おしらせ

◆ワンセグアンテナをご使用の際は、ワンセグアンテナを最後まで引き出してください。ワンセグアンテナを最後まで引き出していない状態で無理な力を加えると、破損の原因となります。

チャンネルを設定する

ワンセグを利用するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネル設定されたエリアを1つ選択しておく必要があります。

● エリアは10件まで登録でき、また、1つのエリアには放送局を12件まで登録できます。

1 ホーム画面で▦→「テレビ」

- チャンネル設定が終わっていない場合のみ、チャンネル設定画面が表示されます。

2 地方を選択→都道府県を選択→地域を選択

- 選択した地域のチャンネル情報が登録されます。

● 別の地域のチャンネルを追加登録する

1 ホーム画面で▦→「テレビ」→「視聴」

2 [･･･]→「エリア切替」→登録するエリア番号をタップ→「OK」

3 地方を選択→都道府県を選択→地域を選択

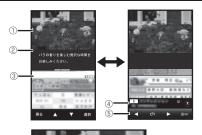
ワンセグを見る

1 ホーム画面で▦→「テレビ」→「視聴」

- ワンセグ視聴画面が表示されます。

おしらせ

◆市販のBluetooth機器を利用して、ワンセグの音声をBluetooth機器から再生できます。→P.112
しかし、SCMS-T 非対応の Bluetooth 機器とは、A2DP接続を行えないため、音を聞くことができません。

● ワンセグ視聴画面の見かた

① 映像エリア
② 字幕エリア
③ データ放送
④ 番組名
⑤ 操作パネル※

※番組名の右側にある▲をタップすると表示されます。

● ワンセグ視聴中の操作について

■タッチ操作について

タッチ操作	動作
左右フリック	チャンネルを順送りで選局します。
映像エリアまたは字幕エリアをタップ	番組名の表示／非表示を切り替えます。
映像エリアまたは字幕エリアをロングタッチ	チャンネル設定中のエリアのチャンネルを一覧で表示します。

■パネル操作について

番組名の右側に表示される▲／▼をタップすると、操作パネルの表示／非表示を切り替えることができます。

パネル操作	動作
ch	チャンネル設定中のエリアのチャンネルを一覧で表示します。
◀／▶	チャンネルを順送りで選局します。 ロングタッチすると視聴可能な番組を自動で選局します。
●REC／REC stop	番組の録画を開始、停止します。

■キー操作について

キー操作	動作
▯（上・音量大）／▯（下・音量小）	音量を調整します。

ワンセグを録画する

視聴中の番組をビデオとして保存します。

●番組によっては著作権などの制限により録画できない場合があります。

1 ワンセグ視聴画面で REC

• 番組の録画が開始します。

2 ワンセグ録画中に REC stop

• 録画が終了します。

おしらせ

◆番組を録画したまま他のアプリケーションを開いてワンセグ画面を閉じると、通知パネルに「録画中」と表示され、番組の録画をしながら他の操作をすることができます。

番組表を利用する

地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できます。キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグへの視聴・録画予約も可能です。

1 ホーム画面で →「テレビ」→「番組表」

■ ワンセグ視聴中の場合

ワンセグ視聴中に →「番組表」

• はじめて番組表を起動したときは、地域設定画面が表示されます。

● 視聴する番組を選ぶ

1 番組表で視聴したい番組をタップ→「ワンセグ起動」

● 視聴や録画を予約する

ワンセグの視聴や録画を予約します。設定した日時にアラームで番組や録画の開始をお知らせします。

1 番組表で番組をタップ→「ワンセグ視聴予約」／「ワンセグ録画予約」

2 各項目を確認→「保存」→「はい」

録画した番組を再生する

1 ホーム画面で →「テレビ」→「録画番組の再生」

2 再生したい番組をタップ

• 番組が再生されます。

• ワンセグ視聴画面同様、操作パネルから番組の操作を行います。→P.126

ワンセグの視聴や録画を予約する

ワンセグの視聴予約・録画予約を行います。設定した日時にアラームで番組や録画の開始をお知らせします。

●視聴予約と録画予約はあわせて20件まで登録できます。

1 ホーム画面で▦→「テレビ」

2 「録画／視聴の予約」→［…］→「新規予約」

3 「番組表から」／「手動で設定」を選択

■「番組表から」を選択した場合
番組表が表示されます。詳しくは「視聴や録画を予約する」（P.127）をご参照ください。

■「手動で設定」を選択した場合
「視聴予約」／「録画予約」を選択→各項目を入力→「保存」→「はい」

おしらせ

◆予約に失敗、中断したときのみ、「予約失敗一覧」画面を表示します。

テレビリンクを利用する

データ放送やメモ情報をテレビリンクに登録できます。登録したテレビリンクはリストで表示でき、簡単に再生できます。

- テレビリンクは50件まで登録できます。

1 ホーム画面で▦→「テレビ」

2 「テレビリンク」

3 リンク先を選択する

■ テレビリンクを削除する場合
テレビリンクをロングタッチする

ワンセグの設定を行う

1 ホーム画面で▦→「テレビ」→「設定」

2 各項目を設定する

データ放送設定…データ放送の詳細について設定します。

オフタイマー …オフタイマーの時間を設定します。

製品情報…製品情報が表示されます。

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されておりお店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。おサイフケータイの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』またはドコモマーケットをご覧ください。

おサイフケータイのご利用にあたって

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリケーションでの設定が必要です。
- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してし

まう場合があります（修理時など、FOMA 端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失･変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA 端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

おサイフケータイを利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトよりおサイフケータイ対応アプリケーションをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応アプリケーションのダウンロードが不要なものもあります。

1 ホーム画面で→「おサイフケータイ」

- サービス情報を取得してサービス一覧を更新します。

2 サービス一覧から利用したいサービスを選択する

- 初回起動時は画面の指示に従って初期設定を行ってください。

3 サービスに関する設定を行う

- サービスのサイトまたはアプリケーションから必要な設定を行います。

読み取り機にかざす

1 FOMA端末の マークを読み取り機にかざして、目的のサービスを利用する

- FOMA 端末の マークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。この機能は、アプリケーションを起動せずにご利用いただけます。

- おサイフケータイ利用時には、LEDの点灯（青）でお知らせします。

おしらせ

◆電源が入っていないときや電池残量が少なくなってからも マークを読み取り機にかざしておサイフケータイ機能をご利用いただくことができます（おサイフケータイ対応アプリケーションを起動することはできません）。ただし、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラームが鳴ったあとで充電せずに放置した場合は、ご利用いただけなくな

る場合がありますので、充電をしてください。電池パックを取り付けていないときは、おサイフケータイ機能はご利用になれません。
◆ マークの面を読み取り機にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。
◆ マークをかざしても認識されない場合は、読み取り機の読み取り部になるべく近づけ、平行になるように、前後左右にずらしてかざしてください。
◆ マークを読み取り機の読み取り部にかざしたときに、おサイフケータイ対応アプリケーションが起動することがあります。

おサイフケータイの機能をロックする

ほかの人におサイフケータイ機能を無断で使われることを防ぐために、おサイフケータイ機能をロックします。
- 電源を切ってもおサイフケータイ機能のロックは解除されません。
- あらかじめ「ロック解除セキュリティ」(P.73)でパターン、PIN、パスワードのいずれかを設定しておく必要があります。

1 ホーム画面で →「おサイフケータイ」→ →「おサイフケータイロック設定」

2「ON」を選択する

3「画面ロックと連動」または「常にON」のどちらかを選択する

4 パターン、PIN、パスワードのいずれかを入力する
- PINまたはパスワードの場合は「次へ」または「OK」をタップします。

5「OK」

● ロックを解除する

1 ホーム画面で →「設定」→「現在地情報とセキュリティ」→「おサイフケータイ ロック設定」

2「OFF」を選択する

3 パターン、PIN、パスワードのいずれかを入力する
- PINまたはパスワードの場合は「次へ」または「OK」をタップします。

4「OK」

iD設定アプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。
- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iD設定アプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。

- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（http://id-credit.com/）をご覧ください。

1 ホーム画面で▦→「iD設定アプリ」

トルカ

トルカとは、FOMA端末に取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』またはドコモマーケットをご覧ください。

1 ホーム画面で▦→「トルカ」

おしらせ

◆トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。

◆ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。

◆IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
- 読み取り機からの取得
- 更新
- メールを利用しての送信
- microSDカードへの移動、コピー
- 地図表示

◆IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。

◆おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。

◆重複チェックを「ON」に設定した場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したい場合は、「OFF」に設定してください。

◆メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。

◆ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。

◆ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。

◆トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。

◆おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

時計

時計を開く

1 ホーム画面で▦→「時計」
- 時計画面が表示されます。時計画面には、日付や曜日、「ニュースと天気」で設定した地域の天気予報も表示されます。

おしらせ

◆◉をタップすると、バックライトが暗くなり、電池の消耗を抑制します。再び◉をタップすると、バックライトが明るくなります。

◆▣をタップすると、microSDカードに保存されている静止画がスライドショーとして表示されます。

[←]を押すとスライドショーが停止し、時計画面が表示されます。

◆[♫]をタップすると、「音楽」アプリケーションが起動して、音楽を再生できます。「音楽」アプリケーションについて詳しくは「音楽を聴く」（P.106）をご参照ください。

アラームを設定する

1 時計画面で[…]→「アラーム」

• 「アラーム」画面が表示され、画面下部には現在時刻が表示されます。

2 […]→「アラームの設定」

3 アラーム時刻を設定して「設定」

• アラームが動作するまでの時間が表示されます。表示は自動的に消え、「アラームを設定」画面が表示されます。
• アラームのオプションとしては以下の設定ができます。

アラームをオンにする	チェックマークを付けるとアラームが有効になり、チェックマークを外すと無効になります。
時刻	設定時刻が変更できます。
繰り返し	曜日ごとに繰り返し同じ時刻にアラームが鳴るように設定できます。
アラーム音	アラーム設定時刻に鳴る音が設定できます。
バイブレーション	チェックマークを付けるとアラーム音と同時にバイブレータが動作します。
ラベル	設定したアラームにラベルを付けることができます。

4 「アラームをオンにする」にチェックマークを付け、他のオプションを設定して「完了」

• 「アラーム」画面が表示され、設定されたアラームがリストに追加されます。
• アラームの設定時刻になるとアラームが動作し、「停止」、「スヌーズ」が表示されます。「停止」をタップすると、アラームを停止できます。「スヌーズ」をタップすると、設定した時間間隔でアラームが動作します。

おしらせ

◆「アラーム」画面で[…]→「設定」をタップすると、マナーモード中のアラーム、アラームの音量、スヌーズ間隔、ボリュームキーの動作を設定することができます。

カレンダー／スケジュール

カレンダーについて

本FOMA端末にはスケジュールを管理するためのカレンダーが用意されています。Googleアカウントをお持ちの場合には、Googleカレンダーのデータと同期できます。

カレンダーを開く

1 ホーム画面で[▦]→「カレンダー」

• カレンダー画面が表示されます。

カレンダー表示を変更する／予定を表示する

● 1日／1週間／1ヶ月表示に変更する

1 カレンダー画面で[⋯]→「日」

- 1日表示になります。

2 カレンダー画面で[⋯]→「週」

- 1週間表示になります。

3 カレンダー画面で[⋯]→「月」

- 1ヶ月表示に戻ります。

おしらせ

◆1ヶ月表示では、画面を上下になぞると前後の月が表示されます。1日表示、1週間表示では、画面を左右になぞると前後の日、週が表示されます。

◆1週間表示または1ヶ月表示になっている場合、カレンダー画面で[⋯]→「今日」をタップすると、システム日付に基づき、今日の欄をハイライト表示できます。

● 表示するカレンダーの種類を設定する

1 カレンダー画面で[⋯]→「その他」→「カレンダー」

- 登録されているカレンダーの種類が表示されます。

2 表示するカレンダーの[アイコン]をタップする

- [アイコン]が表示されていると自動更新され、[アイコン]が表示されているとカレンダーに表示されます。それぞれグレー表示になっている場合には、反映されません。

3 「OK」

- カレンダー画面が表示され、設定に従って情報が表示されます。

おしらせ

◆表示するカレンダーの種類は、本アプリケーションでは作成できません。ブラウザでGoogleカレンダーページにアクセスし「設定」メニューから作成してください。

● 予定リストを表示する

1 カレンダー画面で[⋯]→「予定リスト」

- 予定がリスト表示されます。

予定を作成する

1 カレンダー画面で[⋯]→「その他」→「予定を作成」

- 「予定の詳細」画面が表示されます。画面表示に従い各項目を入力し「完了」をタップしてください。

おしらせ

◆作成した予定の時刻が近づくと、ステータスバーに[1]が表示されます。ステータスバーを下にドラッグして通知パネルを開き、カレンダーの通知をタップすると、「カレンダーの通知」画面が表示されます。「通知を消去」をタップすると通知が消去され、「すべてスヌーズ」をタップすると5分後に再度通知します。

カレンダーの設定を変更する

1 カレンダー画面で[⋯]→「その他」→「設定」

2 必要に応じて設定を変更する

- 予定の通知方法や着信音／バイブレーション、リマインダーの通知時刻の設定が行えます。

電卓

1 ホーム画面で▦→「電卓」

2 数値および算術演算子を入力する

おしらせ

◆電卓画面でキーが表示された部分を左にドラッグするか、[…]→「関数機能」をタップすると、関数画面が表示されます。関数画面でキーが表示された部分を右にドラッグするか、[…]→「標準機能」をタップすると、電卓画面に戻ります。

◆「CLEAR」をタップすると直前に入力した数値または演算子が削除されます。また「CLEAR」をロングタッチすると、入力したすべての情報が削除されます。

Quickoffice

microSDカードに保存されているドキュメントをQuickofficeで表示、編集します。次のファイルを表示することができます。

ドキュメントの種類	拡張子
Excel（Excel 97～Excel 2010）	xls、xlsm、xla、xlam、xlt、xltm、xlsx、xltx
Word（Word 97～Word 2010）	doc、docx、docm、dot、dotx、dotm
PowerPoint（PowerPoint 97～PowerPoint 2010）	ppt、pptx、pot、pptm、ppsm、potx、potm、ppsx
Acrobat（Acrobat 5～9）※	pdf
TEXT※	txt

※編集は不可

1 ホーム画面で▦→「Quickoffice」

ニュースと天気

1 ホーム画面で▦→「ニュースと天気」

天気予報の設定を変更する

1 「ニュースと天気」画面で[…]→「設定」

2 「天気予報の設定」

3 以下の項目から選択する

現在地情報を使用…天気予報を表示する場所として、現在地情報を自動的に設定します。

位置情報の設定…都市名または郵便番号を入力して、天気予報を表示する場所を設定します。

メートル法を使用…メートル法とヤードポンド法を切り替えます。

おしらせ

◆日本国内の郵便番号を入力するときは、郵便番号のあとにスペースと「jp」または「Japan」を入力してください。
◆都市名はローマ字で入力してください(一部地域のみ漢字(都道府県名＋市町村名)でも入力できます)。
◆天気予報はすべての都市を対象としているわけではありません。

Days

メールや通話の履歴、SNS情報から自動的に日記を作成し、閲覧することができます。

1 ホーム画面で▦→「Days」

おしらせ

◆詳細については、[…]→「使い方」をご覧ください。

Topics

ついっぷるトレンドから世間で盛り上がっている話題、SNSのサイトから仲間で盛り上がっている話題を自動的に収集して、閲覧することができます。

1 ホーム画面で▦→「Topics」

おしらせ

◆詳細については、[…]→「使い方」をご覧ください。

データや設定のバックアップ

連絡先をバックアップする

本FOMA端末の連絡先をmicroSDカードにバックアップすることができます。また、ドコモUIMカードやmicroSDカードに保存されている連絡先を本FOMA端末に読み込むことができます。

● 連絡先をmicroSDカードにバックアップする

1 ホーム画面で▦→「連絡先」

2 […]→「その他」→「インポート／エクスポート」

3 「SDカードにエクスポート」

- すべての連絡先がmicroSDカードに書き出されます。

4 「OK」

● 連絡先をドコモUIMカードやmicroSDカードから読み込む

1 ホーム画面で▦→「連絡先」

2 […]→「その他」→「インポート／エクスポート」

- ドコモUIMカードから読み込む場合は、「SIMカードからインポート」をタップしてください。

3 「SIMカードからインポート」または「SDカードからインポート」をタップする

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

Eメールをインポート／エクスポートする

FOMA端末のEメールをmicroSDカードにエクスポートしたり、microSDカードにあるEメールをFOMA端末にインポートすることができます。

● メールを開く

1 ホーム画面で▦→「メール」

● Eメールを microSD カードにエクスポートする

1 microSDカードをFOMA端末に取り付ける

2 「受信トレイ」画面で[…]→「インポート/エクスポート」→「SDカードにエクスポート」

3 「OK」

- すべてのアカウントの Eメールが microSDカードにエクスポートされます。

● microSD カードにある E メールをインポートする

1 Eメールが保存されたmicroSDカードをFOMA端末に取り付ける

2 「受信トレイ」画面で[…]→「インポート/エクスポート」→「SDカードからインポート」

3 インポートするファイルを選択する

- ファイルが2件以上存在する場合は、以下のいずれかをタップして選択します。
  - vMessageファイルを1つインポート
  - 複数のvMessageファイルをインポート
  - すべてのvMessageファイルをインポート
- ファイルが1件しかない場合は、ファイル選択画面は表示されずにインポートが開始されます。

4 「OK」

- インポートしたEメールは「受信トレイ」にインポートされます。

メッセージ（SMS）をインポート／エクスポートする

FOMA端末のメッセージをmicroSDカードにエクスポートしたり、microSDカードにあるメッセージをFOMA端末にインポートすることができます。

● メッセージ（SMS）を開く

1 ホーム画面で▦→「メッセージ」

● メッセージ（SMS）を microSD カードにエクスポートする

1 microSDカードをFOMA端末に取り付ける

2 メッセージ画面で[⋯]→「インポート/エクスポート」→「SDカードにエクスポート」

3 「OK」

- メッセージ画面の全メッセージがmicroSDカードにエクスポートされます。

● microSDカードにあるメッセージ（SMS）をインポートする

1 メッセージ（SMS）が保存されたmicroSDカードをFOMA端末に取り付ける

2 メッセージ画面で[⋯]→「インポート/エクスポート」→「SDカードからインポート」

3 インポートするファイルを選択する

- ファイルが2件以上存在する場合は、以下のいずれかをタップして選択します。
  - vMessageファイルを1つインポート
  - 複数のvMessageファイルをインポート
  - すべてのvMessageファイルをインポート
- ファイルが1件しかない場合は、ファイル選択画面は表示されずにインポートが開始されます。

4 「OK」

- インポートしたメッセージはメッセージ画面にインポートされます。

ブックマークをインポート／エクスポートする

microSDカードにあるブックマークをFOMA端末にインポートしたり、FOMA端末のブックマークをmicroSDカードにエクスポートすることができます。

● ブラウザを開く

1 ホーム画面で[▦]→「ブラウザ」

● ブックマークを microSD カードにエクスポートする

1 microSDカードをFOMA端末に取り付ける

2 ブラウザ画面で[⋯]→「ブックマーク」

3 [⋯]→「エクスポート」

4 「OK」

- ブラウザのブックマークが microSD カードにエクスポートされます。

● microSD カードにあるブックマークをインポートする

1 ブックマークが保存されたmicroSDカードをFOMA端末に取り付ける

2 ブラウザ画面で[⋯]→「ブックマーク」

3 [⋯]→「インポート」

4 インポートするファイルを選択する

- ファイルが2件以上存在する場合は、以下のいずれかをタップして選択します。
  - vBookmarkファイルを1つインポート
  - 複数のvBookmarkファイルをインポート
  - 全てのvBookmarkファイルをインポート
- ファイルが1件しかない場合は、ファイル選択画面は表示されずにインポートが開始されます。

5 「OK」

- インポートしたブックマークはブックマーク一覧画面にインポートされます。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■対応エリアについて

本FOMA端末は3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

■海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの『国際サービスホームページ』
- 「ドコモ海外利用」アプリケーションのヘルプ

おしらせ

◆国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

ご利用できるサービス

主な通信サービス	3G	GSM/GPRS	GSM
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール※1	○	○	×
ブラウザ※1	○	○	×
GPSの現在地確認※2	○	○	×

（○：利用可能　×：利用不可）

※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、「データローミング」の設定を有効にしてください。→P.143

※2 GPS測位（現在地確認）を行うとパケット通信料がかかります。

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について
- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■充電について
- 海外旅行で充電する際の AC アダプタは、別売の「FOMA 海外兼用ACアダプタ01」または「FOMA ACアダプタ02」をご利用ください。

■料金について
- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のFOMA端末やアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますので、各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前設定

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。
- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を「開始」にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。設定については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■接続について

「ネットワークオペレーター」の設定で「利用可能なネットワーク」を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

「利用可能なネットワーク」を手動で定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が一日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

■ディスプレイの表示について
- ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

アイコン	意　味
	ローミング中
／	GPRS接続中／使用中
／	3G（パケット）接続中／使用中

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

■日付と時刻について

「日付と時刻」を「自動」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・

時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、自動設定が正しく行われない場合があります。その場合は、手動で設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻→P.81

■お問い合わせについて

- FOMA端末やドコモUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書裏面をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「ネットワークモード」の「優先ネットワークモード」を「自動（WCDMA／GSM）」に設定してください。→P.143
- 「ネットワークオペレーター」の設定で「利用可能なネットワーク」を「自動選択」に設定してください。→P.143

滞在先での電話のかけかた／受けかた

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

1 ホーム画面で

2 +（「0」をロングタッチする）→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順に入力する

- 地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。
- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

3

4 通話が終了したら

「国際ダイヤルアシスト」の「国番号」に登録されている国へ電話をかける

よくかける相手先の国名と国番号を登録して「自動変換機能設定」を有効にしておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。お買い上げ時の状態では、地域番号（市外局番）の「0」を除いて日本の「+81」を付けた電話番号に変換されます。

1 ホーム画面で

2 地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順に入力する

3

- 「+国番号」から始まる国際電話番号に変換されて表示されます。

4 「発信（XX）」（XX：国・地域名称）

- 国際電話番号に変換しない場合は「元の番号で発信」をタップします。

おしらせ

◆国際ダイヤルアシストを設定するには、ホーム画面で[…]→「設定」→「通話設定」→「国際ダイヤルアシスト設定」をタップしてください。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号をダイヤルして電話をかけます。→P.53

1 ホーム画面で

2 相手の電話番号を入力する

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）+相手先電話番号を入力します。

3

4 通話が終了したら

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」（日本の国番号）を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

日本国内での操作と同様の操作で電話を受けることができます。

おしらせ

◆国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

◆相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。

◆海外での利用時には、「着信拒否」が動作しない可能性があります。→P.54

相手からの電話のかけかた

■日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号－81－90（または80）－XXXX－XXXX

海外のネットワーク接続に関する設定を行う

海外で本FOMA端末を使用する場合は、滞在先で接続できる通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。お買い上げ時は、接続できるネットワークを自動的に検出して切り替えるように設定されていますが、手動で設定を変更することもできます。

ネットワークモードを設定する

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」

- 「優先ネットワークモード」画面が表示されます。

2 モードを選択する

WCDMAのみ…3Gネットワークを利用します。

GSMのみ…GSMネットワークを利用します。

自動（WCDMA/GSM）…利用できるネットワークを自動的に切り替えます。

接続できる通信事業者を確認して手動で設定する

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」

- 「利用可能なネットワーク」画面が表示され、通信事業者名のリストが表示されます。
- 「ネットワークを検索」をタップして、再検索することもできます。
- 「ネットワークモード」の設定により、表示される通信事業者名は異なります。

2 接続する通信事業者名をタップする

おしらせ

◆接続する通信事業者を手動で設定した場合、FOMA端末がサービスエリア外に移動しても別の接続可能な通信事業者には自動的に接続されません。

◆接続する通信事業者を手動で設定した場合は、日本に帰国後、「自動選択」に設定してください。

接続できる通信事業者を自動的に選択する

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」

2 「自動選択」

データローミングを有効にする

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイル

ネットワーク」→「データローミング」

2 「OK」

付録／索引

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック N27
- リアカバー N53
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01
- FOMA ACアダプタ 01※／02※
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※
- キャリングケース 02
- FOMA DCアダプタ 01※／02※
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- ワイヤレスイヤホンセット P01
- FOMA 補助充電アダプタ 02※
- FOMA乾電池アダプタ 01※
- 骨伝導レシーバマイク 02
- Bluetoothヘッドセット F01
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01

※ FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01が必要です。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。→P.154
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。
- FOMA端末の現象は、カテゴリー別に分類して記載しています。

● 電源

FOMA端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.26
- 電池切れになっていませんか。→P.28

● 充電

充電ができない（お知らせLEDが点灯しない／点滅する）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.26
- アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。→P.28
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とACアダプタ(別売)をご使用の場合、FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とACアダプタ（別売）、およびFOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とFOMA端末が正しく接続されていますか。→P.28
- PC接続用microUSBケーブル（試供品）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、そのほか機能の操作を長時間行うと、FOMA 端末の温度が上昇して、充電を停止する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

● 端末操作

操作中・充電中に熱くなる

- 操作中や充電中、また、充電しながらカメラ機能やワンセグ視聴／録画などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
- カメラ機能やワンセグ視聴／録画を長時間行うと、FOMA 端末が温かくなり、カメラ／ワンセグが終了することがあります。しばらくたってから、カメラ／ワンセグをご利用ください。

電池の使用時間が短い
- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。
  圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。→P.28
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
  十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。→P.28

電源断・再起動が起きる
- 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

タップしたり、キーを押しても動作しない
- FOMA端末の電源が切れていませんか。→P.30
- 正しくタッチパネルに触れていますか。→P.31
- 画面ロックされていませんか。→P.30
- スリープモードになっていませんか。→P.30

タップしても正しく操作できない
- 手袋をしたままで操作していませんか。
- 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。

タップしたとき、キーを押したときの画面の反応が遅い
- FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカード間で容量の大きいデータをやり取りしたときなどに起こる場合があります。

ドコモUIMカードが認識されない
- ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.25

時計がずれる
- 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。
  日付と時刻の「自動」がオンになっていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P.81

● 通話

着信音が鳴らない

- マナーモードを設定中ではありませんか。→P.71
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。→P.60、63
- 着信音量を最小に設定していませんか。→P.71
- 近接センサーを指などで覆うと、着信音量が小さくなる場合があります。→P.23

「」の表示が出て電話がかけられない

- サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。→P.34

通話ができない（場所を移動しても「」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを入れ直してください。
- 電波の性質により、アンテナマークが表示されている状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。

● 画面

ディスプレイが暗い

- 電池が少なくなっていませんか。
- 「バックライト消灯」の設定時間が経過していませんか。→P.72
- 「画面の明るさ」の調整を変更していませんか。→P.72
- ecoモードを設定していませんか。→P.72

● 音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 通話音量を変更していませんか。→P.55

● カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 近くの被写体を撮影するときは、オートフォーカスを「接写」に切り替えてください。→P.102
- 手ブレ補正が「OFF」になっていませんか。→P.102
- オートフォーカスを「AF OFF」で撮影していませんか。→P.102
- 人物を撮影するときは、オートフォーカスを「顔検出AF ON」に切り替えてください。→P.102

● ワンセグ

ワンセグの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。
- チャンネル設定をしていますか。→P.125

● おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない

- FOMA端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P.129
- おサイフケータイ ロックの設定をしていませんか。→P.130
- 電池パックを取り外すと、おサイフケータイ ロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなる場合があります。おサイフケータイを利用するには一度電源を入れてください。

● 海外利用

海外でFOMA端末が使えない（アンテナマークが表示されている場合）

- WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
  WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

海外でFOMA端末が使えない（「」が表示されている場合）

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
  利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。
  「ネットワークモード」を「 自動（WCDMA／GSM）」に設定してください。→P.143
  「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください。→P.143
- FOMA端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。

海外でデータ通信ができない

- 「データローミング」の設定を有効にしてください。→P.143

海外で利用中に、突然FOMA端末が使えなくなった
- 利用停止目安額を超えていませんか。
  「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

● データ管理

データ転送が行われない
- USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

microSDカードに保存したデータが表示されない
- microSDカードを挿入し直してください。→P.26

● 赤外線通信

連絡先のデータを全件受信できない
- 本体のメモリに空き容量はありますか。
  受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

● Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない
- Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、FOMA端末両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

エラーメッセージ

**「SIMカードはPUKでロックされています。
ユーザーガイドを参照するか、お客様サポートにお問い合わせください。」**
- PIN1 コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。「緊急通報」をタップして、キーパッドで「⚹⚹05⚹[PUKコード]⚹[新しいPIN]⚹[新しいPIN] #」と入力してください。→P.75
- PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりドコモUIM カードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。→P.74

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、連絡先などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※ 本FOMA端末は、連絡先のデータをmicroSDカードにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

● 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

● お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）

• お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：受話口部、送話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（連絡先機能）およびダウンロード情報などについて

- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

N-04Cのソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページにてご案内させていただきます。

- ソフトウェアを更新するには「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。
  - 自動更新:新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
  - 即時更新:更新したいときすぐ更新を行います。
  - 予約更新:アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中・圏外にいるとき
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - Wi-Fiネットワークとの接続中
  - メジャーアップデート中
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要な空き容量が十分でないとき
- ソフトウェア更新(ダウンロード、書き換え)には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません(ダウンロード中は電話の着信が可能です)。
- ソフトウェア更新の際にはサーバー(当社のサイト)へSSL/TLS通信を行います。
- ソフトウェア更新は電波が強く、アンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときには、更新ができない旨のメッセージが表示されます。
- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、充電が不足しているため更新できない旨のメッセージが表示されます。

- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に更新の必要がない旨のメッセージが表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のN-04C固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、書き換えが失敗した旨のメッセージが表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中にて、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

おしらせ

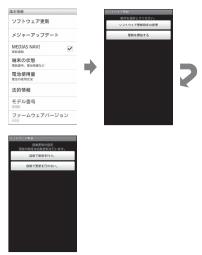
◆ソフトウェア更新は、N-04Cに登録された連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のN-04Cの状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ソフトウェア更新を自動で行う（自動更新）

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。

- お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新を行う」に設定されています。
- 書き換え可能な状態になるとステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示され、書き換え時刻の確認を行い、書き換え時刻の変更や今すぐ書き換えするかを選択できます。
- （ソフトウェア更新有）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新有）は消去されます。
- 書き換え時刻になったとき、電池残量が不足していた場合や、通話中の場合はソフトウェア更新を開始せず、翌日の同時刻に再度ソフトウェア更新を行います。
- 自動更新設定が「自動で更新を行わない」になっている場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

● 自動更新の設定

1 ホーム画面で[•••]→「設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「ソフトウェア更新設定の変更」

2 ソフトウェア更新通知があったときの動作をタップ

- 自動でソフトウェア更新をするとき：「自動で更新を行う。」
- 自動でソフトウェア更新をしないとき：「自動で更新を行わない。」

● 更新が必要な場合の動作

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、ステータスバーに (ソフトウェア更新有）が表示されます。

1 通知パネルを開いて「 」

2 書き換え方法を選択

ソフトウェア更新が必要なときは、書き換え時刻が表示されます。

■ 指定時刻に書き換えを開始する

→「OK」

- ホーム画面に戻ります。設定時刻になると書き換えを開始します。
- 書き換えが完了するとステータスバーに が表示されます。 は、一度確認すると消去されます。

■ 書き換え開始時刻を変更する

- アップデートパッケージのインストールを実行する時刻を設定します。

→「時刻を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）」の操作1へ→P.162

■ **すぐに書き換えを開始する**

→「すぐにソフトウェアを更新する」の操作1へ→P.160

おしらせ

◆自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。

ソフトウェア更新を起動する（即時更新）

1 ホーム画面で［…］→「設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「更新を開始する」→「はい」

- ダウンロードを開始すると、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでにダウンロードしたデータは削除されます。

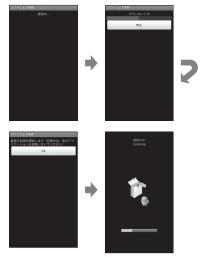
- ソフトウェア更新の必要がないときには、「更新の必要はありません。このままお使いください。」と表示されます。

2 「OK」

- 再起動後更新を開始します。
- 更新中はすべての操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 更新中に2回自動的に再起動します。

3 ホーム画面が表示

- ステータスバーにが表示されます。は、一度確認すると消去されます。

すぐにソフトウェアを更新する

1 「今すぐ開始」

2 「書換え処理を開始します」が表示→「OK」

- 「書換え処理を開始します」の表示が約3秒経過すると、自動的に書き換えを開始します。
- 書き換え中は、すべての操作が無効となります。書き換えを中止することもできません。
- 書き換えが終了すると、自動的に再起動します。

3 再起動後、自動的にソフトウェア更新が開始

- 更新中は、すべての操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 更新が終了すると、約5秒後に自動的に再起動します。

4 通知パネルを開いて「☑」

- ソフトウェア更新を終了し、ホーム画面が表示されます。

- ステータスバーに更新が完了したことを表す（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。（ソフトウェア更新が完了しました。）は、一度確認すると消去されます。

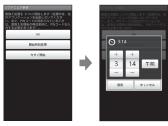
● ソフトウェア更新終了後の表示について

ステータスバーにが表示されます。通知パネルを開いてタップすると、ソフトウェア更新が完了したことを示すメッセージが表示されます。

時刻を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）

アップデートパッケージのインストールを別の時間に予約をしたい場合には、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1「開始時刻変更」

- 書き換え開始時刻設定画面が表示されます。
- 時刻はN-04Cの時刻に合わせて表示されます。

2 希望の時刻を入力→「設定」

- 時刻を設定します。
- 「+」／「−」をタップして更新時刻を変更し、「設定」をタップします。

● 予約した時刻になると

1「書換え処理を開始します」が表示→「OK」

- 「書換え処理を開始します」の表示後約3秒経過すると、自動的にソフトウェア更新を開始します。
- ソフトウェア更新を予約した時刻には、電波の十分届くところでホーム画面を表示させておいてください。
- 予約した時刻にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときは、翌日の同時刻にソフトウェア更新を行います。
- 予約した時刻にメジャーアップデート中の場合、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていたときは、ソフトウェア更新が優先されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻になったときN-04Cの電源を切った状態の場合は、電源を入れたあと、予約時刻と同時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

メジャーアップデート

FOMA端末のOSのバージョンアップ（メジャーアップデート）を行います。

- メジャーアップデートの注意事項については、「ソフトウェア更新」の「ご利用にあたって」を参照してください。→P.154
- 最新のソフトウェアの状況については、メーカーサイト（MEDIAS NAVI）
  http://www.medias.net/ を参照してください。

1 ホーム画面で[…]→「設定」→「端末情報」→「メジャーアップデート」

2 以下の項目から選択

更新を開始する…メジャーアップデートを起動します。

- **ネットワークを利用して更新**…ネットワークを利用してOSのバージョンアップを行います。
- **SDカードを利用して更新**…microSDカードを利用してOSのバージョンアップを行います。

更新の確認…本FOMA端末がアップデート可能か確認を行います。

更新を定期的に確認する…自動で定期的に更新情報をチェックし、バージョンアップ可能か確認を行います。

●「ネットワークを利用して更新」について

- メジャーアップデートはmicroSDカードを経由して行うため、あらかじめmicroSDカードを挿入しておく必要があります。
- 次の場合はメジャーアップデートできません。
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - USB接続時のマウント中
  - メジャーアップデートに必要な電池残量がないとき
  - メジャーアップデートに必要なmicroSDカードの空き容量が十分でないとき
- 3Gネットワークを利用してメジャーアップデートを行う場合は、パケット通信料がかかります。パケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 更新するソフトウェアバージョンにより、Wi-Fiネットワークへの接続が必要です。
- Wi-Fiネットワークを利用してソフトウェア更新をする際は、あらかじめWi-Fi設定を行いWi-Fiネットワークに接続されていることを確認してください。→P.65

●「SDカードを利用して更新」について

- FOMA端末とパソコンを接続して、メーカーサイト（MEDIAS NAVI）から、パソコンを使ってmicroSDカードに更新するソフトウェアを取り込んで、メジャーアップデートを行います。
  詳しくは、メーカーサイト（MEDIAS NAVI）を参照してください。
- 次の場合はメジャーアップデートできません。
  - USB接続時のマウント中
  - メジャーアップデートに必要な電池残量がないとき
  - メジャーアップデートに必要なmicroSDカードの空き容量が十分でないとき
- メジャーアップデート完了後、microSDカードに取り込んだ更新ソフトウェアは、手動で削除してください（メジャーアップデート正常終了後は、削除して問題ありません）。

主な仕様

■本体

品名		N-04C
サイズ		高さ約127mm×幅約62mm×厚さ約7.7mm（最厚部約8.7mm）
質量		約105g（電池パック装着時）
メモリ	ROM	1,024Mバイト
	RAM	512Mバイト
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（「自動」設定時※1）：約360時間 移動時（「3G」設定時※1）：約280時間 移動時（「自動」設定時※1）：約200時間
	GSM	静止時（「自動」設定時※1）：約220時間
連続通話時間	FOMA／3G	約250分
	GSM	約250分
充電時間		ACアダプタ：約170分 DCアダプタ：約170分
ワンセグ視聴時間		約300分※5
ディスプレイ	方式	TFT 262,144色
	サイズ	約4.0inch
	画素数	409,920画素（480×854ドット）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/4.0inch
	有効画素数	約510万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	約500万画素
	デジタルズーム	最大約6.7倍

記録部	静止画記録枚数	microSDカード（2Gバイト）保存時：最大約9,999枚※2
	静止画連続撮影	撮影間隔0.04秒／0.1秒：5～25枚、撮影間隔0.5秒／1秒／2秒：5～100枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	microSDカード（2Gバイト）保存時：最大約236分※3
	動画ファイル形式	MP4
	ワンセグ録画時間	microSDカード（2Gバイト）保存時：最大約600分（合計）※4
音楽再生	WMAファイル	約1,000分※5
	MP3ファイル	約1,000分※5
無線LAN※6		IEEE802.11b/g/n（2.4GHz帯）準拠
Bluetooth	対応バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.2.1+EDRに準拠※7
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 2
	見通し通信距離※8	約10m以内
	対応プロファイル	HSP,HFP,OPP,A2DP,AVRCP,PBAP,SPP

※1 ネットワークの接続切り替え設定は、「モバイルネットワーク」（P.65）で行います。

※2 サイズ＝VGA（640×480）、画質＝ノーマル（ファイルサイズ＝95Kバイト）の場合、且つ1フォルダに格納できる最大件数となります。

※3 以下の条件での1件あたりの録画時間です。
サイズ＝VGA（640×480）、画質＝標準

※4 放送局、番組によって最大録画時間は異なります。

※5 バックグラウンド再生対応

※6 本製品の無線LANは、Wi-Fi認証を取得しています。

※7 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法でBluetooth 標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。

※8 周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。

■電池パック

品名	電池パック N27
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.8V
公称容量	1230mAh

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種N-04Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.469W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します。※2 NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
NECカシオモバイルコミュニケーションズのホームページ　http://www.n-keitai.com/lineup/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（平成23年3月現在）

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 1.00W/kg, and when worn on the body, is 0.80W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at https://gullfoss2.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm after search on FCC ID A98-TBP4266.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
Non-compliance with the above restrictions may result in violation of FCC RF Exposure guidelines.

---

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

FCC Regulations

This mobile phone complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
This mobile phone has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration of Conformity

The product "N-04C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.n-keitai.com/lineup/index.html (Japanese only).

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.825W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

- * The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
- ** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
- *** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「トルカ」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「おサイフケータイ」「iD」「WORLD WING」「公共モード」「spモード」「エリアメール」および「トルカ」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴ、「iD」ロゴ、「ｉC」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Powered by emblend™ Copyright 2010-2011 Aplix Corporation. All Rights Reserved.
  emblendおよびemblendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「PictMagic／ピクトマジック」「クイックショット」「MEDIAS／メディアス」「MEDIAS NAVI／メディアスナビ」「MEDIAS WELLNESS」「Days」「Tap search／タップサーチ」はNECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Exchange ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- T9®はNuance Communications, Inc.,および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。
- PhotoSolid®、MovieSolid® およびそのロゴマークは、株式会社モルフォの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- 「Google」「Android」「Androidマーケット」「Gmail」「Google Calendar」「Google Maps」「Google Talk」「Google Latitude」「YouTube」「Picasa」および「Google」ロゴ、「Android」ロゴ、「Androidマーケット」ロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected Setupロゴは Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

- らくらく無線スタートはNECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。
- 「Facebook」はFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Evernote」はEvernote Corporationの商標または登録商標です。
- 「BeeTV」はエイベックス・エンタテインメント株式会社 の商標または登録商標です。
- 「エブリスタ」は株式会社エブリスタの登録商標です。
- ATOKは株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 「andronavi/アンドロナビ」、「ついっぷる」、「ソトメモ」、「旅比較ねっと」はNECビッグローブ株式会社の商標または登録商標です。
- 「ソラダスお天気予報」は、株式会社エムティーアイの登録商標です。
- 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触 ＩＣ カードの技術方式です。FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。

  Adobe、Flash、およびFlashロゴはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。Powered by ADOBE® FLASH®
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG，INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
-

Windowsの表記について

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

Adobe® Flash® Playerのご使用について

- 本製品に搭載されているAdobe® Flash® Player（以下「本ソフトウェア」といいます）は、著作権法によって保護されています。お客様は、本ソフトウェアを使用する際以下に掲げた事項をお守りください。
  ① 本ソフトウェアを複製し頒布しないこと。
  ② 本ソフトウェアを改変もしくは翻訳しないこと、または本ソフトウェアの二次的著作物を作成しないこと。
  ③ 本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルしないこと、または本ソフトウェアのソースコードの解明を試みないこと。
  ④ 本ソフトウェアの使用によって被った派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失に対する賠償請求をしないこと。

GPL／LGPL適用ソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License（GPL）またはGNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変することができます。
  GPL、LGPLは、ホーム画面で[…]→「設定」→「端末情報」→「法的情報」→「オープンソースライセンス」を参照してください。

■ソースコードの入手方法

ソースコードの入手方法については、下記ウェブサイトにてご案内しています。

http://www.n-keitai.com/guide/download/

なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

索引

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo （ http://www.mydocomo.com/ ）⇒各種お申込・お手続き
※ご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。
■機内モード：電波を発する機能を有効／無効にします。→P.65
■マナーモード：着信音などFOMA端末から鳴る音を消します。→P.71
■公共モード（電源OFF）：電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。→P.64
■バイブレータ：電話がかかってきたことを、振動で知らせます。→P.71

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00〜午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24 時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24 時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-04Cから、ご利用の場合は +81-3-6832-6600 でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉（24 時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-04Cから、ご利用の場合は +81-3-6718-1414 でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA 端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

'11.3（1.4版）